滿洲日報

印刷一般 滿日社印刷所 電話四四八・四〇四九

新春立志の時

一年の計は元旦に在り

一生の志は之れを少壯の時に立てざるべからず。今日は之れ一年の始め、而して諸君は少壯、春秋甚だ富む。將に其志を立つるの好機！

獨學者諸君

獨學者にとり最も成功迅速かなるは實に官界也本會は少壯に官吏を養成して茲に十有六年内務文部兩大臣より激賞推薦の榮を蒙り

内務文部兩大臣推賞の講義

普通文官講義

合格最多

一躍判任官に昇り得る處の「文官普通試驗」又は「裁判所書記登用試驗」は毎年全國各地方に施行されるが何時も合格者の過半數は本會々員會友を以て占めてゐる。一本會講義錄は小學卒業後僅か一年の學習で容易に文官試驗に合格し得る樣編纂さる。

規則書で見本請求次第内容見本の外に添付 文官受驗案内と合格の秘訣 無代進呈

東京市日本橋濱町新大橋際 「日本大學法制學會」改稱 日本通信大學法制學會 振替東京一五〇五番

外交時報

新春倍大號 定價本號一圓

◇對支新政策（太田宇之助） ◇波斯の英露抗爭（三島泰雄）
◇今年の外交問題（日米不戰條約は不必要）……半澤玉城
◇大戰外交の一節……前特命全權大使子爵石井菊次郎
◇太平洋と帝國主義……東京帝大教授蠟山政道
◇米國に於ける三權分立主義…政治學博士高橋清吾
◇現下世界の二大問題…衆議院議員文學博士建部遯吾
◇朝鮮を如何にすべきや……法學博士泉哲
◇國際法上主體としての民族……九州帝大教授大澤章
◇デイギド・アーカートに就て……東北帝大教授堀經夫
◇英國政局の變化（岡本鶴松） ◇歐米・支那・軍事時報（本社調査）
◇本年の佛國政界（町田梓樓） ◇對支干渉の可能（吉山虎雄）
◇滿洲政策の一面……法學博士米田實
◇日本海運の十大缺陷……經濟學博士寺島成信
◇生きんとする歐洲各國……陸軍參與官衆議院議員松本君平
◇理想鄉に適する支那……法學士金崎賢
◇榎本武揚子の對墨移民計畫……早大教授淺見登郎
◇スラーヴ民族の新興……前代理公使田村幸策
◇葫蘆島築港問題の考察……在奉天園田一龜
◇支那の移動性（後藤朝太郎） ◇壽府新聞會議（伊達源一郎）
◇在外鮮人問題（卷頭言） ◇民族とは何ぞや（前田蓮山）

東京京町 外交時報社 振替東京一八六八五番

謹賀新年

滿洲煖房衛生同業組合（イロハ順）

奉天千代田通二四 今井商會 今井主 電話六八二
大連市吉野町九一 橋本商會 橋本與三郎 電話長三八、四八九九
大連市山縣通一六 大倉商事株式會社大連出張所 池田龍雄 電代表八一六一
奉天富士町六 河村工務所 河村穎 電話一三〇一
大連市淡路町二 勝本機械事務所 勝本永次郎 電話六八九〇 三八九四
大連市若狹町一八〇 田中勝商會 田中勝藏 電話三四二五
大連市山手町四 竹山商會 竹山吉次 電話六五五三
奉天富士町九 近藤商會 近藤平次 電話四六二
大連市西公園町一九 齋藤製作所 辻竹次郎 電話三〇二四
大連市監部通二〇 島松商店 松澤萬三人 電話代表六一〇四
大連市西公園町五五 須賀商會 小阪博通 電話六七五九
安東縣四番通ノ三 須田商會 須田武夫 電話五八六

朝鮮銀行

本店 京城

支店出張所
內地 東京、大阪、大阪西區、神戸
朝鮮 釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲 大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、長春、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
支那 上海、青島、天津
露領 浦鹽斯德
米國 紐育
右の外倫敦、巴里其他內外樞要の地に爲替取引先之有候

總裁 加藤敬三郎

謹賀新年
大連市佐渡町二六番地
和洋ボタン各種 洋服附屬品商 杉本ボタン店
電話八二六一番 振替大連一八二七番

謹賀新年
連山關 山口金吾
本溪湖 岩瀨德藏
同 羽山喜郎
同 小野山悟
同 塘愼太郎
同 須田德市
同 中山通治
同 吉村藤吉

謹賀新年
關東州酒造組合

謹賀新年
奉天理髮業組合

謹賀新年
大連市山縣通り
帝國火災保險株式會社 大連支店
電話六二九三

謹賀新年
長春 吉川組出張所
電話三一二番

謹賀新年
關東廳地方法院
安住時太郎
行山義光
三谷銀藏

謹賀新年
長春住吉町三ノ二 滿洲製粉會社 津澤吉彥 電一四番
孟家屯驛 木村鐵次郎
長春大和通り 長春興信所 所長 清水末一 電一三五〇番

謹賀新年
大連現業員組合
事務所 大連市若狹町六〇 電話五二一二

日本語は斯して支那語に譯しませう
陳德安・村上信郎 共著
四六版紙表紙美本 定價壹圓
本書は著者が多年研究の結晶にして受驗者研究者必讀の良書なり

滿洲に於ける金貨と銀貨
渡邊濤吉郎著
好評第四版定價一圓五十錢送料六錢
銀貨國たる滿洲に金貨使用の危險なるを說明せる事實指導の良書也

中谷鹿二著
新式標点 華語演說集
好評嘖々定價一圓五十錢送料十七錢
本書は語學研究者の參考書として定評あり

吳淸安・祖山惠吉共著
總クロース製美本 定價八十錢・送料四錢
改訂再版
日華會話自由自在
どんな會話でも自由在に出來る比例を示して好評嘖々たる本書たり。

最新刊
吳淸安・祖山惠吉共著
ポケット形總クロース製 定價八十錢・送料四錢
日華書翰文自由自在
日支人が書面に依る意志の交換を自由自在に出來る比例を示し已に定評ある最良書たり。

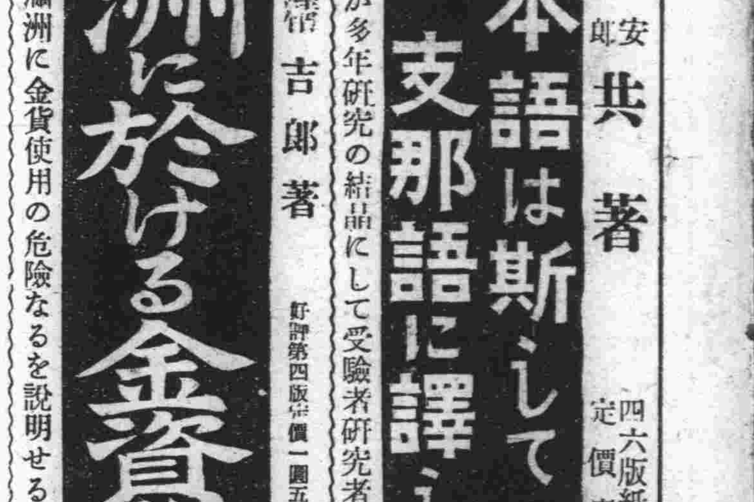
中谷鹿二著
總クロース美本定價七十錢・送料四錢
改訂再版
日支合辨語より正しき支那語へ
誤り多き合辨語滿洲語より正しき支那語へ導く會話を主とし便利なる事本書の特長とす。
保科紀十二著
上製美本寫眞版入定價二圓送料八錢

大好評
最近の南滿洲
滿洲視察者絕好の指針滿洲事情紹介として世評嘖々
中谷鹿二著
總クロース美本定價九十錢送料四錢

最新刊
日支會話 支那語は先づ應用から
本書は應用本位の日支會話にして極めて實用向の良書也

發兌 滿書堂書店
大連浪速町九四（大山通り角） 振替口座大連一四八三番 電話五五九八 六四一一

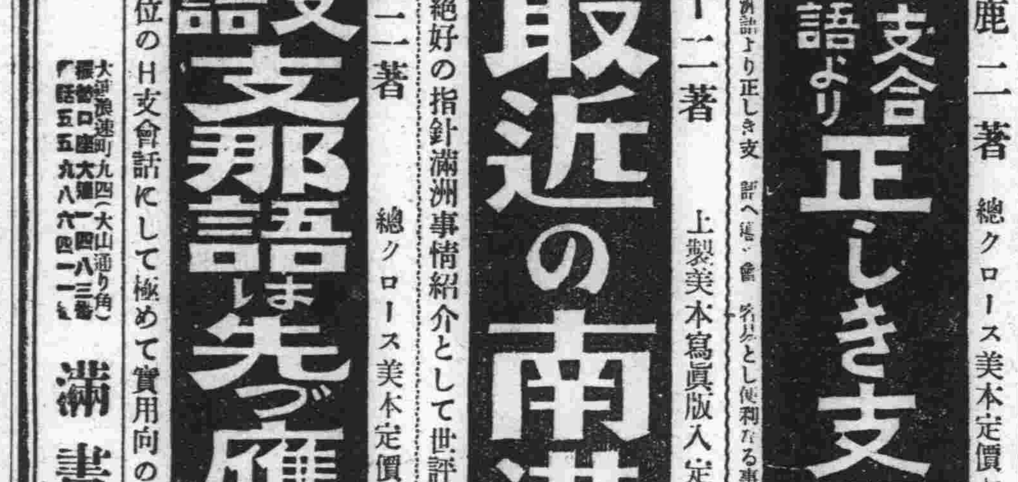
創立明治四十三年
中村鐵工所
營業所 大連市山縣通九十八番地 電話七一九八一番
工場 大連市日吉町十一番地 電話園九〇七八・九〇八一番



中村德三郎著
新刊 標準麻雀採点法
定價五十錢 送料四錢
從來小店にて編纂發行せし同名の一枚刷のものは絕版とし新に著者に起稿を乞ひしもの、小册の麗しき支那趣味の美本にして價頗廉、内容又前の如き貧弱なるものに非ず、著者多年の含蓄を傾倒せられしものにして得點の種類より說き起し、原則定義等理路整然とし一も漏す所なく、尙南北支那の鬪法得點の差を比較し、役の如きも總て其の種類を區分し覺え易く解說せられたるなど、一讀何人と雖も採點の易々たるに驚かれるに違ひないのであります。

改版 麻雀競技法 附 打牌要覽
改版第一刷 中村德三郎著 王景沐校
實價壹圓 送料六錢
版を重ねる事十三、初版以來訂正に增補に幾度か改善せられしに、今又全部の版を改めて附するに打牌要覽を以てす。麻雀の指導書として邦文唯一の良書たる事は既に定評ありしもの、昭和三年の朝日年鑑に麻雀の參考書として、第一に本書を擧げられたるは當然の事なり。附錄の打牌要覽は著者多年の研究の結品にして竹戰に臨む者の座右より離すべからざる至便重寶なる麻雀譜であります。（打牌要覽分賣定價三十五錢）

發行所 大連市常盤橋ビルディング 千山閣書房 電話四三六二番 振替大連一四三二
發賣元 丸善株式會社



皮膚科梅毒科 泌尿生殖器科
井上醫院
大連浪速町一丁目 電話五二六〇番

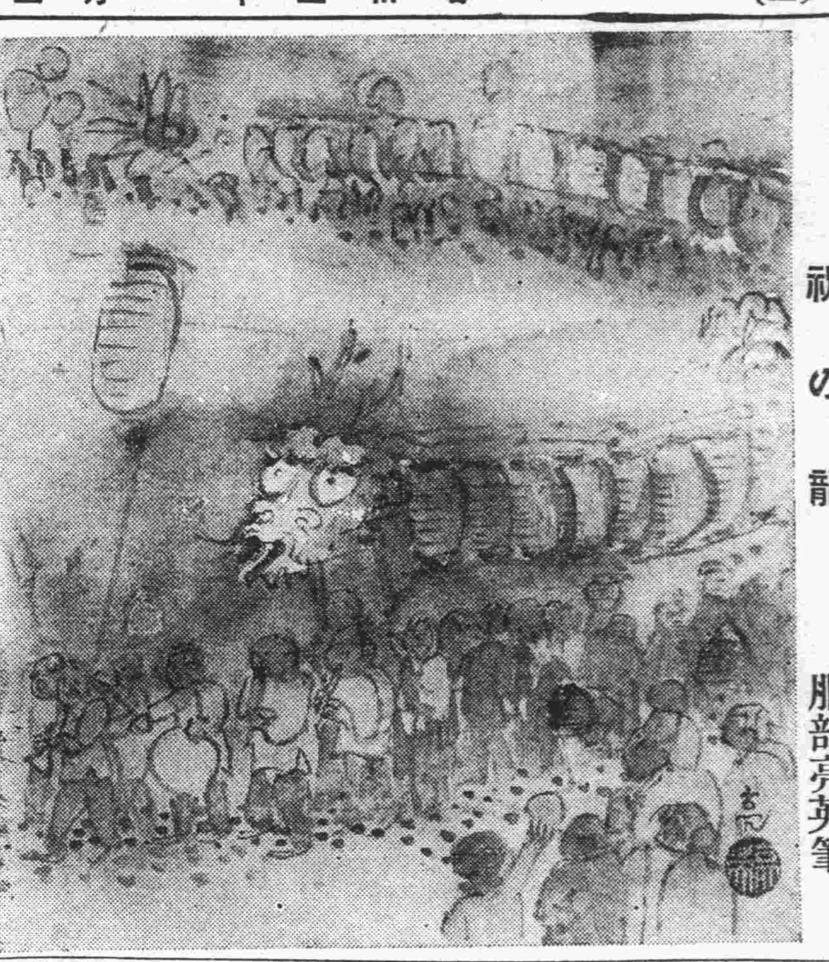
最新刊

篠崎嘉郎著 滿洲金融及財界の現狀 實價四圓五十錢送料十八錢
堀口大學著 アポリネール詩抄 實價二圓十錢送料十錢
福田正夫著 長篇叙事詩 空翔ける美女 實價一圓五錢送料六錢
吉田助治著 兒童圖書館叢書 里見八犬傳 上 實價二圓六十二錢送料十二錢
明治文學名著全集十一 澤村田之助草紙 實價一圓三十六錢送料十錢
樋口繁次著 婦人の健康の爲に 實價一圓五錢送料八錢
實用家庭編物普及會編 最新毛糸編物栞 實價六十三錢送料八錢
關口次郎著 戲曲 鴉 實價一圓八十九錢送料十錢
佐藤春夫著 佐藤春夫拾年集 實價二圓三十一錢送料十二錢
大島與吉著 滿蒙の鐵道網 實價二圓十錢送料十二錢
中島正風著 國體の新研究
堀江歸一著 英國預金銀行論 實價二圓六十二錢送料十錢
野邊地天馬著 ひらがな舊約讀本 實價八十四錢送料六錢
ローザ、ルクセンブルグ著 ローザ政治論集 實價一圓五錢送料六錢
北岡信著 戀愛判斷 實價一圓五十七錢送料八錢
日本童話研究會編 學校家庭文庫 コロンブス物語 實價七十三錢送料八錢
熊田國夫著 兒童圖書館叢書 支那民話 實價一圓五錢送料八錢
兒島義人著 船の十日物語 實價二圓十錢

大阪屋號書店 大連市浪速町 振替大連五五番 （本店東京支店京城奉天旅順）

羽太銳治著 性鑑 實價一圓八十九錢送料十錢
門田重雄著 日本の博士研究 實價一圓八十九錢送料八錢
土屋淸一著 哲學綱要 實價一圓五十八錢送料六錢
三田谷啓著 子供の神經質 實價一圓五十八錢送料八錢
貴志敏雄著 お天氣と雲の話 實價一圓五十八錢送料八錢
河野通綱著 全人格的生活と修身教授の諸相 實價二圓六十三錢送料十四錢
宗伏高信著 文明の彼岸へ 實價二圓三十一錢送料八錢
小平久馬著 日本婚禮式 實價一圓六十八錢送料十錢
堀口大學著 アポリネール詩抄 實價二圓十錢送料十錢
齋藤唯信著 華嚴五教章講話 實價二圓六十三錢送料十二錢
文學思想研究 實價二圓九十四錢送料十四錢
樋口繁次著 婦人の健康の爲 實價一圓五錢送料八錢
鶴見祐輔著 中道を歩む心 實價一圓五錢送料八錢
淸見陸郎著 寡婦マルク 實價一圓五錢送料六錢
中島信著 ロシヤの牢獄 實價八十九錢送料六錢
腕一本で儲かる外交 實價一圓五十八錢送料六錢
潮田東醉著 長塚節歌集 實價八十九錢送料二錢

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五五九八番 振替大連一四八三番



祝の龍 服部亮英筆

化膿した癌腫を大手術せよ

之が本年財界人の覺悟

東京株式取引所理事長 岡崎國臣

大正九年の財界反動以來星霜を經ること茲に八年、何れの日にか財界の好況到るやと轉た感慨に堪へぬものがある。尤も中途にして大震火災に會ひ、又昨春未曾有の金融恐慌に見舞はれて恢復途上にありし我國の財界は大障害を蒙つたことは見逃すことは出來ぬが、併し乍ら此の八年の不況は矢張り世界戰爭によつて齎らされた世界的不況が根底をなすもので人類の破壞であつた大戰爭の慘害に我々は尚今日も直面して居るのである。殊に隣邦支那國內の秩序統一を見ること、何れの日であるか豫想し得ず、東亞の經濟的發展に大障害を爲しつゝあるは遺憾であるけれども、世界の經濟界は米國の盛況に追隨し、產業の合理化、能率の增進を圖り一方國際的共助に依りカルテル或はトラストを形成する等、鋭意現在の不振を打開せんと試みてゐるから、景氣恢復の一歩を踏み出したものと謂ふべく大に期待するものがあらうと想はれる。

顧みて本邦財界の現狀並に前途は如何、昨春殆ど東西未曾有と云ふ可き金融恐慌に會し、震災後恢復途上にありしが財界は又もや茲に一頓座を來たした。爾來九ケ月を經たる今日の財界を述ぶるに當りても現に休業せる銀行二十餘行この預金額五億圓の解決如何が當面の問題として重要なることは言を俟たぬ。幸ひにして政府當局の施設により既に支拂を開始したるも數行、爾餘の十五銀行、近江銀行を初め各銀行も整理又は合同案の作成に努めてゐるから該未金融も豫想の如き動搖なくして終つた事は不幸中の幸ひであつた。斯くて財界に充滿したる人心の不安は漸次消散すべく、又やがてかの入億の偏在資金の還元、特殊銀行の機能活用により、中小商工業者に對する金融の道も開かれて金融界は常態に復歸し、事業界も從つて追々活動するに至らんと信ぜらる。現に全國手形交換高を見ても昨年五月の恐慌直後に於ては僅に三十八億圓に過ぎなかつたものが十一月に於ては四十九億圓に恢復した、併し之れでも前々年同期に比すれば尚二十七萬億圓以上の減少となつてゐるので信用の恢復のまだ足らぬのを憾む次第である。次に昨年の貿易は前々年の四十四億圓に對し四十一億圓にして不振の最少記錄を示し貿易外の受取勘定を以て相殺するときは昨年の國際收支は殆ど均衡を得たる次第である。併し之は積極的輸出の增加に因るに非ずして消極的輸入著減に原因したのであるが本年は財界の良化と共に勿論輸入も增加を免れまいが、一面米國の好景氣と爲替の下落とは輸出貿易に刺戟を與へ相當活況を呈するであらうと思はれる。爲替の下落したことは輸出貿易には好影響を與へたとはいへ國家的信用よりすれば決して賀す可き事ではない。昨春四十九弗四分の一半と平價に接近したものが四十五弗臺に下落したのは金融恐慌のため本邦の對外信用を害したることが主因で從つて當分金融出解禁の行はれまじきこと又輸入季節に入りたること等が從たる原因を爲したのであらうが、近く財界の安定を來すと同時に爲替も安定の域に向ふであらうと思はれる。要するに我國の金融恐慌と財界の現狀はその遠因を遠く大正九年の反動に置いてゐるので、爾來徒らに優柔不斷彌縫を事とし惡弊が山積してゐたもので、謂はば積年の癰腫が化膿して崩る可き時に崩潰したものにすぎぬのであるから、今こそ根本的外科手術を施す可き天分の機會を下されたものので、我等緊褌一番、徹底的整理を斷行し、所謂禍を轉じて福と爲さねばならぬ、願はくば朝野共に自省自戒究めて理の存する所之を實行するに逡巡すること無きを期したい。今や海外經濟事情の趨勢は漸次良化しつゝあり我國も之に伍して奮鬪怠りなくば財界の好況を迎ふること遠きに非ずと信ずるものである。

本年の株式界は

一段の活躍を來さん

五品取引所理事長 原田耕一氏談

多事多難であつた舊年を送つて御大典の國民的奉祝氣分に滿ちた戊辰の新春を茲に迎へた、本年は辰年に因んで總てに活氣を呈しさうに思へる

財界 の狀勢は既往に比して頗る改善の跡がある、震災手形問題に端を發した昨年の金融恐慌は、經濟上に多大の影響を與へ、物價の下落、企業の萎縮を來たしたが、其後整理の進捗に伴れて、金融狀態も持直し、一般に貸出の減少、預金の增加を示し、金利低落して金融は緩和され、公社債類の騰貴を見るに至り、諸物價も底を入れ、漸次昂騰步調に轉じて、財界は步一步

堅實 な步調を辿つて來た滿洲にても昨年は總ての方面が萎微振はず不況のドン底に陷れる感があつた、然し窮すれば通ずるの譬への如く、不況が一般的に行亘り、總ての方面が行詰りの狀態に陷つた時、一面には振興の機運を釀成しつゝあるもので、今日の如き金融緩慢、金利の低下、物價の底入れは不景氣時代より恢復期に移つた

象徵 であると思はれる株式界も昨秋以來海外財界の好景氣と爲替の低落及輸入の減退に伴ふ貿易の好調に刺戟されて活氣を呈し、加之資金の偏在は證券放資を誘致して證券市場に一轉換期を劃するに至つた、從つて本年の株界も更に一段の活躍を來すであらう

大禮の意義(2)

掌典 星野輝興氏談

◇齋田點定の儀(一月上旬)

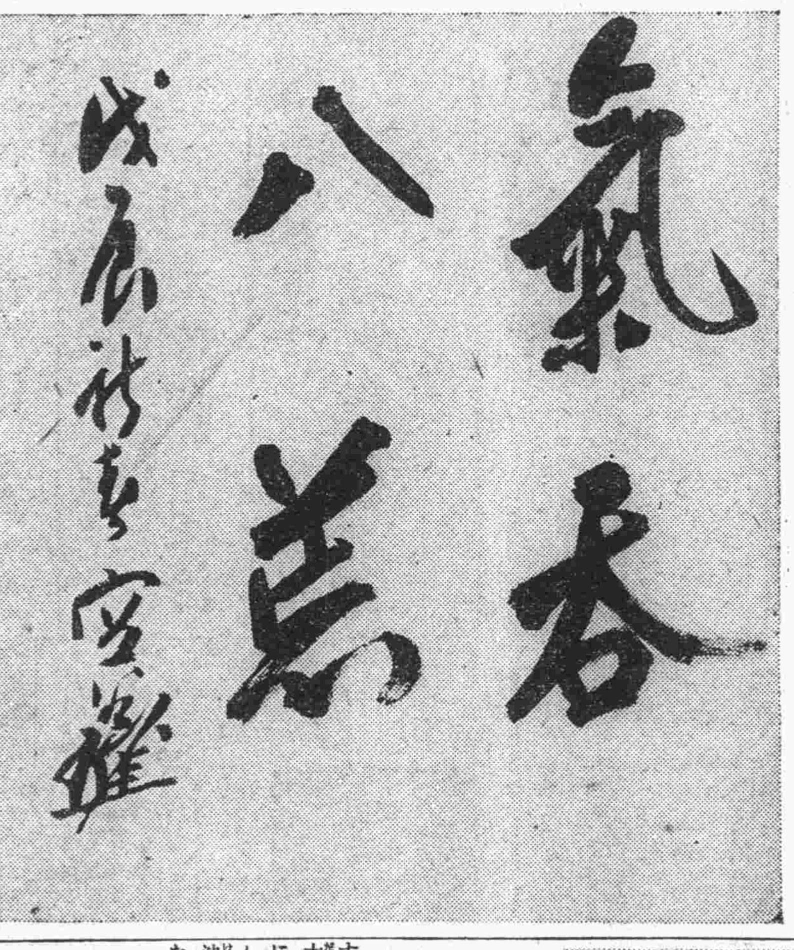
齋田は悠紀と主基との兩田の事で、これを決定するには登極令第八條「大嘗祭の齋田は京都以東以南を悠紀の地方とし、京都以西以北を主基の地方とし、其の地方は之を勅定す」とあるに基いて二月初旬、宮中神殿の前庭で、龜卜に依つて行はれるのであります。悠紀は「雪」「湯」等の清淨な意味を現はす語源がありまして、主基は「次」といふ處に語源がありますが、次と云ふのは、清淨さの程度の意味でなく、時間的の次であつて、第一次に清淨な食物を嘗め給ふ所、第二次に清淨な食物を嘗め給ふ所の意味で、卽ち今日は第一次に「清淨云々」の「清淨」をとり、それが雪や湯の如く清淨であると云ふ意味から「悠紀」が殘り第二次の清淨云々の「次」をとつたものが「主基」となつた次第であります。ともに潔齋の意を表し、其のきこしめされる御殿が悠紀、主基の兩殿で、その時の御米を作る田が、兩齋田です。齋田も亦、大嘗祭御用の新穀を作るために潔み淸められた田であると云ふ意義に外なりません。扨て齋田點定の話でありますが、これは登極令附記にも明記はありませんが、古例に據りまして神殿の前庭に龜卜を行ふことになつて居ります。龜卜は齋田點定の儀の精髓であつて、其作法は明治四年の大嘗祭記には見えて居ります。こゝに一寸龜卜の歷史について申し上げます。日本の龜卜はもと支那から傳來したもので、世界の人類は昔、獸類の頭骸骨等には靈力があるものと神聖視して、それを火にあぶり、それによつて生じた「ヒビ」は神意を表すものとして、常に神聖な卜相には用ひられたものでありました、日本でも昔鹿の肩骨を以て此方法を行つたものでありますが、鹿よりも龜が得やすい關係もあり、支那渡來の龜卜の法を用ゆる樣になり、鹿の卜法は今はわづかに東北方面の一地方に用ひられて居る位になりました、此龜卜法は年代から云へば支那文化渡來以來のものでありまして、龜卜の由來は先づ右の通りでありますが扨て、其方法は先づ地味、風土、人情、風俗、風雨及び種時の時期、收穫の時期等人間として調査し得る總ての範圍から最小限度の悠紀、主基兩田の候補地を選定して置きまして、それから、神殿前庭で悠紀、主基の兩龜甲を火の上にかざし、其の甲面に生ずる「ヒビ」の方向、形狀、長短等「ヒビ」の生じ樣から來るト相の方法に照らして之を九條掌典長が判定し、更に大禮使長官を經て御裁可を仰ぎ直に勅定されるのであります。斯樣にして齋田が決定されますと、これは大禮の儀以外ではありますが、耕作の齋田を仰せつかつた地方では左の通りの諸式が行はれて稻田が出來上ります。

齋田の祓式(四月下旬)
鍬入の式(同)
播種式(同)
田植式(六月下旬)
續いて
京都大嘗宮地鎭祭(八月中旬)
名古屋離宮假殿地鎭祭(同)
齋田齋場地鎭祭(同)

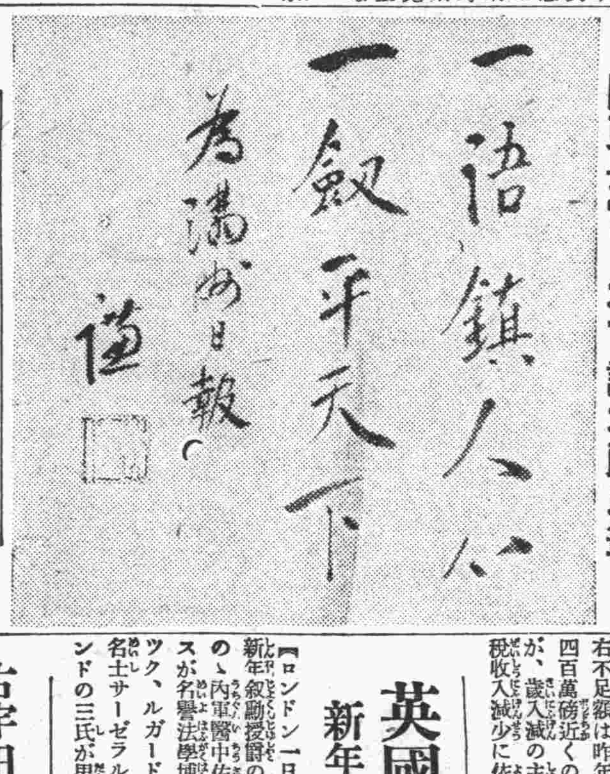
何れも掌典參向を仰つけられていともおごそかに行はせられるのです。

◇拔穗前の大祓及拔穗の儀(九月中旬)

九月中旬兩齋田とも秋成の時期になりますと、兩田へ一人宛拔穗使として勅使がさし向けられます此の儀はすなはち稻を收穫する式でありまして、大嘗祭用の稻を絕對に神聖視し且つ大切なものと見ての勅使であります。拔穗の前日に拔穗使を始め關係者一同は河岸で淸淨潔齋の大祓をやりまして、當日になると拔穗使は衣冠單で齋田に參考し、先づ其の祭中、太田主卽ち田の持主は耕作者十人を引率しまして稻を刈り取るのであります。拔穗使はその稻を一々嚴重に點檢した後これを稻實殿に格納しましてこゝに拔穗の式が終るのであります。これも亦大禮儀關係以外の事ですが、こうして收穫した稻は米として、十月の中旬兩地方長官は新穀輸送の式を行つて之を京都に輸送します。宮內省では京都皇宮內にある齋庫の前でそれを受領し新穀供納式を行つて齋庫に納めるのであります。



民政黨總裁 濱口雄幸氏筆



關東長官 木下謙次郎氏筆

滿蒙の邦人進運打開策

入學試驗廢止の可否

◇―本社の質問に答へた在滿知名士の意見

一、滿蒙における邦人の進運打開策として最も焦眉の急なるものに對する貴見如何
二、入學試驗廢止の可否
三、貴下の趣味

右三項に對し本社は在滿知名士に質問の結果左記の如き有益なる回答を得た

…(二)…

哈爾賓 高田富藏

一、最も急なるものは事外交に關することにより此はがきにては御返事を差控へ申候
二、入學試驗廢止は贊成なり
三、なし

奉天 山本純吉

一、張作霖氏の放蕩三昧を封ずるにあり
二、ぬしの浮氣がいつやまるやら悋氣じやないが氣がもめる

衞藤利夫

一、茲に名醫も首を捻る瀕死の病人あり、その起死回生のために「最も焦眉の急なる措置」を往復葉書の片面に徵せられし時、人は如何なる感じを成すや、場あたりの思ひつきなら何とでも云へるが……
二、議論の餘地なし、やめることだ
三、サア何にもない、强て云へばフイリスティンの俗論に對して旋毛を曲げることか

山田武吉

一、現狀の下においては、鐵道敷設と大拓殖事業の開始が滿蒙における邦人の進運打開策として最も急を要するものと思ひますが後者は土地商租問題が先決事項であり、これが出來ない以上は駄目であるから、結局はもつと根本に突つ込んで思ひ切つた手段工夫があらうと考へて居ります、その根本的大策は私の既に屢唱へた所であります

大連第一中學校長 西內精四郎

二、入學試驗廢止可、之がために從來行はれつゝある入學準備教育の弊害が根本的に打破され、兒童も父兄も亦小學校の先生方も總てが小學教育の本旨にめざめてその眞の目的に副ふべく眞面目な態度に立ち返すことになるならば、試驗廢止のために生ずる選拔の困難や情實の危險その他弊害と實行難とを押し切つて進んで行きたいと思ひます弊害百出を叫ぶのみで之を防止するの知と意を缺き、現狀維持に偸安せんとする者あらば神聖なるべき國民教育を侮蔑するものであり、又は月新日進の聖旨に悖るものでないでせうか

高柳淮汀

一、舊套を打破し自力に精進す
二、試驗を止めないで方法を改良也

す
三、趣味に捉はれないことに趣味を持つ

丘襄二

一、商租權を確めて貰ふ策などが先づ進運打開の急なるものと思ふが、若し懷中が淋しうて華人を凌ぐ辛抱力が缺けてゐてそれで人の褌で角力といふ料簡があつたならば名策があつても打開はむづかしからう
二、入學試驗は廢止に共鳴
三、嗄を紅爐の邊に占め、燒芋を咬つて讀書に耽る位のことで甚だ不景氣な趣味です

竹田菅雄

一、高粱のかゆをすゝりて炕の上に愚問愚答を聞き流しつゝ
二、文教の殿堂を建設するは第一次なり、何ぞ末葉に喋々たる
三、萬に一の友を得る無上の愉快

和登良吉

一、土地商租問題の實際的解決
二、廢止可
三、寫眞、ゴルフ、日本音樂

太田雅夫

一、(イ)爲政者の妥當なる對滿蒙政策確立と之に伴ふ計畫の實行 (ロ)在留邦人の自覺
二、否(絕對的の意味にあらず、更に妥當なる方法の發見せらるゝまで)
三、狩獵、乘馬

井上清

一、當局として政治外交方面において邦人發展の障害をなす幾多の原因排除に努力を要すること勿論なるも、在住邦人としても從來の他力本願の依賴心を捨て自力個々の進展打開に一段の工夫を要す、この爲めには內的覺醒の要緊切なるを認む

在滿鮮人問題と根本的の解決策

京城から歸つた 松井顧問談

【奉天特電二日發】政治問題に關する打合せの爲め京城に山梨新總督を訪ふた松井大元帥府顧問は山本滿鐵社長に對し滿蒙交渉の現狀其の他支那政局の報告及び打合せのため、豫定を早め三十一日山本社長と京城より同車歸奉したが車中で語る

朝鮮の統治方法は山梨新總督の就任により多少積極的に更新するであらう、在滿鮮人問題解決の根本策に就ては總督と充分意見の交換を行つたが治外法權の撤法は他に重大なる對內的結果をひき起す憂ひがあるため即時斷行はなし難く、なほ研究を重ねたき意嚮であつた、但し意見としては商租問題解決の道程上斷行されねばならぬ問題ではないかと思つてゐる

因に氏は奉天にて越年二日朝北京に向つた

綿絲布の重稅

一月一日より愈實施

【鐵嶺】鐵嶺稅捐局の綿絲布に對する課稅改變は當業者に對する一大脅威として商務會と同局との間に再三交渉商議中であつたがいよ〳〵財政廳の認可を得て次の如く決し一月一日から實施すること〻なつた

綿絲一俵に付元價奉大洋一千八百圓稅金三分五厘
綿布大尺一疋に付同十七圓、細布一疋六十圓、細綾四十五圓、粗布五十圓稅率三分三厘

更に奧地へ再輸出の場合には二分五厘の附加稅を課する筈であるが這は當業者に取りて大打擊である以前綿絲は四百五十圓の立値であつて四倍の高値となり綿布も大尺布の如き四圓五十錢であつたため同樣約四倍の元價となり、重稅の苦痛に堪へず自然商賣は休止狀態となるべく大いに悲觀されてゐる

日本の存亡は 中國の存亡である

三空の中華民國のために

前外交總長 蔡廷幹氏談

戊辰の元旦を迎へて我中華民國の國情に眼を轉ずる時洵に感慨の禁ずる能はざるものがある。共和民國の建國以來既に十有六年の歲月を閲したが其間一日として兵火の絕ゆることなく其災禍は年とともに深刻にして今や四分五裂宛然戰國時代の觀を呈し、良民は傳來の家鄕を棄て堵に安んずるを得ず、鐵道は荒廢して產業は衰へ山河到るところ血潮を以て彩られ、外交は愈複雜に、新舊の各軍閥はこの間に處して私利を營むに汲々として眼中國家國民なく、青年學生は徒らに新思潮に溺れて妄動し內憂外患國家の危機これより太しきはない。

然りと雖も今斯の如き渦中に投じては如何なる英雄豪傑と雖も施すに術なかるべく志を將來に展べて過渡的現況の推移を俟つの外はない。余は曾て畏友李瑞甫君とともに乞食の寫眞を集め之れを一帖に貼り「三空の圖」と題し日常机上に置いて自らの戒めとなしつゝあるが、三空は卽ち腦空、囊空、腹空にして老莊の思想亦この三空を出でず既に共和政體を立國の根本義とする以上、世界最古最高の共和制度學たる老莊の經學を有する我が國として淺薄極まる勞農の共產主義學を借用するの必要は斷じてない。百年河淸を俟つに似たる中國の現狀もやがては一陽來復の春なしとは言ひ難く、その實現には善隣日本の最も友誼的指導に俟つものが多い。日本は今年明治維新の還曆に相當し國威益々揚がり東亞の盟主としてこの責任亦一層の重大を加ふ。此際に當り舊の感情と目前の小利害に東亞百年の大策の上に誤りなからんことを切望に堪へない。それは日本の存亡は中國の存亡であり亞細亞民族の存亡であるからである。

イギリスの歲入不足

財產所得稅收入激減

【ロンドン一日發電】英國大藏省の發表に依れば、千九百二十八年三月三十一日を以て終る本會計年度の最初の九月期卽ち十二月末日現在における英國々庫歲入額不足額は一億五千萬磅を越えてゐる、右不足額は昨年同期不足額に比し四百萬磅近くの增加を示してゐるが、歲入減の主要原因は財產所得稅收入減少に依るものである

英國の新年叙勳者

【ロンドン一日發電】英皇帝より新年叙勳授爵の御沙汰に接したものゝ內軍醫中佐ジー、エーギッブスが名譽法學博士、サーフレデリツク、ルガード、モルタ島政界の名士サーゼラルド、ストリツクランドの三氏が男爵に敍せられた

古宇田知事

依願免官に內定

【東京二日發電】古宇田宮崎縣知事の行政處分については、政府も總選擧を前に控へて地方長官の士氣に關することを憂慮して愼重に協議の結果いよ〳〵依願免本官の輕い處分をなす事に內定し正月政治はじめ後の閣議でこれが後任並にこれに伴ふ二、三地方官の更迭と同時に正式に決定し發表する豫定である

勅選補缺四名

目下銓衡中

【東京二日發電】政府は目下缺員中の四名の勅選議員をなるべく議會休會明け前に補充したき方針の下にこれが人選につき田中首相ならびに鈴木內相の間により〳〵協議中であるが、その銓衡範圍は今回は政黨方面の長老は一先づ保留し東京大阪より實業家各一名づゝ他の二人を田中首相縣親の軍人および官吏上りから推薦する模樣である

戊辰元旦 福田衆外

旭光破靄照荒陲、萬戸千門颺國旗、龍塞今朝化機動、春風先度老梅枝

新春雜詠 海城 渡邊恭雄

戰雲未歇歲華新、誰克中原安四民、游子不知兵甲事、椒花杯裏獨酣醺

新らしき果物を 安價で御用命に應じます
元祖 漬物 富士見園 電話九五四三番
主要種目 澤庵漬 奈良漬 福神漬 果實 蔬菜
多少に不拘御用命の程願上候
富士見園出張所 大連市信濃町市場四十八

泌尿器科 皮膚黴毒 野中醫院
大連市吉野町二丁目(元羽前町角) 電話四六四一番

謹告
弊店儀開業以來大方各位の御眷顧を蒙り營業益々隆盛に赴き候段深かく奉感謝候陳者多年の御愛顧に酬ゆるため今回室內の設備大改良を加へたる上北京料理人を新たに招聘し純粹なる北京料理を食卓に供し價格も極めて低廉に勉强可致候に付何卒倍舊御來館あらんことを偏に希上候敬白
料理名 烤鴨、烤鷄、薰鷄、醬鴨、筒子鷄、薰魚、酥鯽魚、扒燒肉、烤肉、烤羊肉、北京醬肉、香腸
追而特別の宴會又は新年宴會等の場合特に御便宜を計り御人數の多少により三人卓子三圓、四人卓子四圓、六人卓子六圓七人卓子七圓、九人卓子九圓にて料理も特に勉强致し候
北京料理 慶雲樓 大連市浪速町六〇番地大山通林洋行橫 電話七二七一

花環 花籠 ばら屋花環店 大連市西廣場近江町 電話三九一〇番

耳鼻咽喉科 澤田醫院 信濃町(浪速町角) 電話四五一〇番

生花 花環 葬儀取扱 白蓮社 大連市三河町近藤病院前 電話三五二九番 金州支店 金州東町 市村

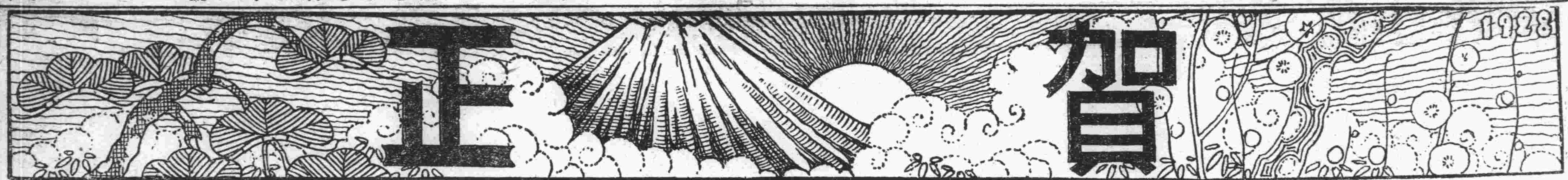
生花 花環 葬儀取扱 八弘社 大連西通大連商業銀行跡 電話七六四四番 器具材料全部新調

花環造花 籠花生花類 雨蓮社 大連市伊勢町西廣場角 電話六五五八番 支店瓦房店滿鐵沿線より御注文は特に御便宜相計可申候

生花 花環 葬儀取扱 明圓社 大連市若狹町三丁目 電話四九一〇番

荊妻光子儀豫而病氣中の處養生不相叶去る三十一日午後六時死去致候間此段謹告候也
追而葬儀は四日午後二時西本願寺に於て施行可仕候
昭和三年一月三日
親戚總代 大久保成雄 池田吉郞 大久保俊逸
友人總代 鈴木邦武 山本喜二 坂本進

朱春山先生令息治德君死去ノ件ニ關シテハ既報ノ通リニ有之候處葬儀ハ來ル一月八日午前十時惠比須町天后宮ニ於テ告別式ヲ擧行シ引續キ正午出棺致可候
昭和三年一月 日
友人 星武 坂田磯五郎 森田重太郎 玉置幹一 香宗我部操 張英華 王承斌 麗睦堂 徐香圃 王桂壽 張壽山 王鶴年 吳鍵濟 劉品山 張田池 都景山



寶來紗廠
隆興紗廠
大康紗廠
鐘淵紗廠
內外綿株式會社
富士紗廠

青島絲廠

魯大鑛業股份有限公司
總理 靳雲鵬
協理兼專務董事 神崎正助
協理 王占元
專務董事 張肇銓
鑛業所長 半田盛次郎

大連汽船株式會社青島支店
支店長 松本文三郎

支那青島陵縣路三十一
山東窯業株式會社
山東煙草株式會社
電話一一二〇 一九七二番

山東起業株式會社
青島湖南路三十五號

同仁會
青島病院

兒玉國雄
佐伯彪
鈴木又
土屋彥俊
平尾信通
小林象平
平松連太郎
濱田正直
鹽田正長
松永雄治
西山徑清
細野庄平
井町小市
光田麟治
栗原武夫
神田清二郎

沓野重次郎
塚田王世
棚橋貞通
今田實
入間田毅
小川良之輔
阿部銈二
小林隆助 青島日本中學校
堀可直 青島日本中學校
山本泰勝 青島日本高等女學校
家近清雄 青島日本高等女學校
橘立章 青島日本高等女學校
宇野祐四郎 青島日本第一小學校
宗像壽太郎 青島日本第二小學校
向山善次郎 青島日本電信局
蘆田蜀三郎 青島和記洋行 電話 事務所四八三 自宅三〇二

三津和商會
觀城路(電話一〇九一番)
當局路(電話一九八番)

青島
平岡組

滿洲不動貯金
山東省一手販賣所
煙草商
西倉洋行
西倉 西藏
青島山東路
電話一〇七一番

金水旅館
青島聖興路四拾四號
電話一六九番

青島
西洋料理組合

滿南洲鐵道指定
茶代廢止
つたや旅館
館主 廣田繁一
青島冠縣路
電話七二四番

青島市場一路
中央ホテル
電話一六一一番

南滿洲鐵道指定
茶代全廢
花月旅館
種村安吉

岡崎合資會社
旭華鑛業公司
協成鑛業公司

日支合辦
青島宰畜股份有限公司
董事長 王蓋臣
副董事長 井上源太

土木建築及勞力請負業
公和興工程局

麵粉製造販賣業 (工場)青島、濟南
恒興麵粉廠
青島熱河路七號 宮世雲

株式會社
青島取引所

博愛醫院
飯田芳亮
青島聊城路

眼科醫院
富田要
青島東阿路

青島市場一路
貿易商
吉澤洋行
吉澤千城
電話六四番 一四六番 四五五番 九三〇番 一一〇一番

青島冠縣路四十二號
貿易商
大杉洋行
大杉昇平
電話 工場二六八 一五〇七番 店一四四二番 主自宅一六九五番 濟南出張所 電一九二三番

輸出入貿易商
合名會社 南眞治商店
代表者 南眞治
青島冠縣路三十七號
電話七二一 一五五四 一一六〇番

青島館陶路第二號
米星煙草株式會社

新作落語 百人一首

柳亭小燕枝
今井平馬畫

お正月に因まして百人一首といふお笑ひを一席申上げます、雪月花と揃ひました中にも、雪は手前共のような貧乏人に取りましては洵に難澁、月も亦結構にはちがひありませんが、風流氣のない者に取りましては大きな電氣燈位のもので、餘り陽氣ではございませんな、先づ月に浮かれるのは位のもので、そこへ來ると花は人々の心を浮立せる洵に結構なものでムいまして中にも梅の花は花の王としてありますが、しかし櫻のほうが何方かと申せば陽氣でムいます花は櫻木、人は武士とか申しまして、櫻は散り際がよろしい。梅のはうは散り際が惡うムいます。けれどもお花見に行つても花を見て歸つて來る方は少いようで、それでは何を見て來るか、先づは人を見て來る方が多いようで ○「一體何處へ行くんで △「飛鳥山だよ ○「大變な人だが △「それは面白い、直出かけよう」花の事は云はない、從つて人を見に行くことになる、尤もこの花時となりますと種々變裝をしてゾロ〱と出かけます、花の場所ばかりでなく、種々の趣向を凝らして往來を練つて歩きました。男が女の扮装をしたり、或ひは又女が男の扮装をしたり、中には旦那樣が四ツん這ひに這つて、角樽を頭に結び付け、お內儀さんが手綱を引張り、ご亭主に馬乘りになつて、ドウドウなどと馬乘りの眞似をして歩くなんて奇抜なのがありました。あまり好い形ではムいませんな、さて東京では小金井、荒川、上野、飛鳥山と諸方に花の名所がございますが大阪では櫻の宮か鶴滿寺位の物で鶴滿寺と云ふのは大阪の在にあるお寺で、そこには大きな櫻が一本ございます、京都の祇園のようなもの、只一本あります爲めに多勢の人が集つてまゐります ○「今日はお天氣も宜いから鶴滿寺へ花見に行かう」と藝妓幇間を多勢伴れまして、さる所の若旦那、これは始めてお出でになつたので 若「助八や 助「ヘエ 若「寺は何處だ 助「ヘエ此處でムいます 若「立派なのだね、あの櫻かえ 助「左樣でムいます 若「成る程、櫻だね」ヒヨイと入らうとすると掃除をしてゐる權助が 權「オイ〱、お前さん何だつて入つて來るんだ 助「ヘエー、一寸花を見に…… 權「何を見に來たと 助「花を一寸拜見に來ましたので 權「駄目だぞ 助「ヘエ、權「駄目でがす、今度のお住持は偉く嚴しいだ、毎日々々花を見に來やアがつて、庭を荒して掃除するばかりも偉い面倒だからつて、表に札を出してあるのが目に入らねえか。花見の人入るべからずと認めてあるだ 助「さうでムいませうけれど、折角是丈けの人がご馳走を背つて樂しみに來たのでムいます、どうぞ一つ助けると思つて 權「駄目でがす、入る事はなんねえ 助「さうでもムいませうが、どうか一つ 權「煩さいな此の人は、駄目だと云つたら……其處にまご〱してゐると水打つかけるぞ、

助「これは驚いた、若旦那駄目でムいますよ 若「不可ないかえ 權「見せないさうでムいます、あんまり醉つぱらひが來て、喧嘩をしたり亂暴をしたりするので、お住持が庭を荒されるから中へ入れないと云つてゐるさうで 若「それは困つたね、折角惡うして皆んなが樂しみにして來たんだから、強つてといふのも惡からうが、どうか一つ賴んでは吳れまいか 助「それがね、種々賴みましたが不可ないと申します、どうでせう、お金を何程か出して頂きたいもので、然うでムいますか、百文もあつたら宜しうございませう……エツへ、、貴下は何と仰有いますか、お名前は存じませんが、これは失禮乍ら百文、どうかお煙草でも 權「何をするだ、人の袂を捉へて……ナニ是れを俺にくれる。さうかの、ハ、ア考へて見ると氣の毒な譯だナ 助「ヘエ、洵にお氣の毒な譯で、權「多勢揃つて、花を見てえと思つて支度ぶつて來て、歸ると云ふ譯にも行かなかんべえ 助「左樣でムいます、決してお庭を荒しなど致ません、一寸お庭の隅の所を拜借して、毛氈を敷かして頂いて持つて參つたお酒を飲みながら花を見るのでムいますが如何でムいませう 權「然うだの幸ひお住持は今日お不在だし嚴しい事を云つたとて跡でわしが掃除をするから構はねえ入つて見るが宜からう 助「左樣でムいますか、ヘエ〱百文の勢力は恐ろしいものだ、さア皆さん此方へお入んなさい 若「イヤ有難い 藝「本當に助八さんは氣がきいてゐるよ、まあいゝ櫻だ事、あア旦那・お酒を出して三味線を・助「オツと、あんまり早過ぎると不可ません、又おどかされるから靜かに〱 若「お酒の燗をしたいが、火が無くつちやア不可ないね 助「アツ、炭を持つて來ませんでしたよ 若「弱つたなア 助「今の男に賴んだらどうかしら……洵に濟みませんがお燗を致すのでございますが、火を少しお借り申したいもので 權「ア、宜しうがす、火も炭も澤山使ふが宜しい、藥罐はあるかの 助「濟みませんが、どうかお貸なすつて下さい……恐ろしいもんだナ、百文の効能大したものだ、ヘエ〱附きましたか、さア旦那お酌いたしませうヘエ〱有難い事で手前も頂戴いたします ウム結構でムいますナ、丁度好い燗で 若「建物の立派な所へこの庭があつて中に一本大きな櫻があるから一層引立つて見へるね、却々お金がかゝつてゐるよ、それは然うと先刻の權助が呆やり佇つて此方を見てゐる、一杯飲まして遣らうぢやアないか」すると藝妓が 藝「さうですね、助八さん呼んで飲ましてお遣りなさいよ 助「もし男衆さん……權助さん、何と云ふお名前だか存じませんが、如何でございますか失禮ですが一つ持合せを 權「ハア、俺に盃を下さるかの折角貴下がさう云ふだから、デハ一杯よばれるかの 藝「一寸ご免遊ばせ、お酌を 權「ハイ〱恐れ入りますの、エツへへ……お前さんは藝妓さんかの、女ツ子と云ふものは飾れば飾るほど美しくなるものだのハ、アこんな綺麗な女ツ子を多勢引附けて酒を飲む、貴下は結構なご身分だ、俺もハア村にゐた時分には酒も飲んだが、どうもこの頃はお住持が嚴ましいもんだで全つ切り、ア、宜い酒だの、ア、結構な酒だ、ア、旨え、俺もこの寺に永年奉公ぶつてゐるが、先の住持は些つとも構はなかつたから、その時分には毎日のように多勢花見に來て、酒を呑んで大層騷いだもんだ、アレ然う注いでも不可ねえ、貴下は却々面白い人だがこの中の旦那どんではねえようだの 助「ヘエ、私は何でございまして 幇間で 權「ハア、法界坊… 助「イエ法界坊ではねえ幇間でつまり太鼓持でございます 權「ハア、太鼓持ちうと 助「男の藝者でございますナ 權「男の藝者か、ヤツぱり三味線を彈くかの 助「三味線などは彈きません 權「それは不自由だの、所でお前樣方に云つて置くが今日はハアお住持がゐねえから此處へ入れたが、住持がゐる時には迚も駄目だぞ、アレさう注いでは不可ねえよ、最う吞めねえだ、何だつて、何を…… 助「然うして只お酒ばかり吞んでゐては面白くありませんが、少し三味線を彈いては如何で 權「三味線を彈くなんてそんな事をしては不可ねえ、エ、この女ツ子が踊るんだよ、フ、、見れば見る程美しい女ツ子だの、何を踊るだ、エ、、フ、ム端歌ツち踊りを踊るか、さうかなア、アハなる程、綺麗な扇を開いて、アハ、、、これは面白えぞ、オイ其處にゐる人、旦那に酌をして吳んろ俺にべえ酌してゐては良くねえぞハア魂消たもんだの、この女ツ子は何歲になるの、ナニ十三だと、十三位で是程踊りを踊るものは俺もまだ見た事がねえぞ、この分で十八九に成つたら盆踊が出來るだらう。アハ、、、オイ最う一つ向ふが踊つて吳んろ、汝れは藝妓だから踊るのが商賣だオイこれ幇間……」すると若旦那が 若「これは驚いたね、あんまり飲ませるから不可ねえ 助「こんなに飲むとは思ひませんでしたよ、いさゝか恐縮の至りで……ヘエヘエ 權「何をヘエ〱頭ばかり低げてゐるだ、汝れ一つ踊つて見ろ 助「ヘエ、どうも恐れ入りました、實はその踊りの方は 權「踊りの方は不可ねえと云ふか、不可ねえ事は無からう、こんな小さな女ツ子でさへ踊つたぞ、さア踊つて見ろ、踊らねえと引ツ繰返すぞ 助「どうも然う無理を仰有つては困ります、貴下は却々煩さい酒じ 權「誰が煩さい酒を吞ました、俺の方から吞まして吳んろと賴んだ譯ではねえぞ、コレよく聞け、今日はお住持がお不在だで、お前らが折角來て花見ねえで歸すのも氣の毒だと思つたで入れて遣つた、それを今になつて煩せえ酒だとは何だ、この恩知らず奴 助「どうも恐れ入りましたツイ口がすべりまして、飛んだ事を申上げまして、若旦那一寸何程か、一朱程お出しを願ひたいもので……エ、誠に失禮でムいますが、どうぞ是れでお好きな物でも召上つて…… 權「これをどうするだの、ハア俺に吳れるか、それはどうも氣の毒だの、ナニ今のは怒つた譯ではねえ一寸冗談を云つただ、一朱になつたら俺が踊るべえ」權助は、悉かり醉つぱらつてしまひ、汚い手拭で向ふ鉢卷をすると夢中になつて踊り出しました、あんまりグル〱廻つたので眼をまわしてバツタリ倒れると、その儘櫻の根方で高鼾聲、好い心持ちさうに眠つて了ひました 助「旦那驚きましたね 若「詰らない者が飛び込んで折角の花見が滅茶苦茶になつてしまつた、さあ今の內に、引拂つてしまはう、さア〱、皆んな片附けて〱」と是から其の邊をすつかり片附けてしまひ、ソコ〱に一同は引揚げて行つてしまふ。その跡へ戾つて來たのがこの寺のお住持 佳「丁度今日は花が見頃ぢやらう、オ、これは美事に咲いてゐる。オヤ〱庭が芥だらけになつてゐるが、又誰か入つたのではあるまいか、困つたものだオヤ〱權助がこんな所に寢てゐる、コレ〱權助〱 權「アノ醉つた〱、さア今度は俺がカツポレを遣るべえ、さア女ツ子、三味線を彈いて吳んろ」と云ひながらヒヨイとお住持の姿を見た權助、權「ア、失敗つた、お歸んなさいまし 佳「何がお歸んなさいだ、あれ程俺が固く止めて置いたのに、何だつて酒など吞んで騷いでゐる 權「ヘエ、酒を吞んだ譯ではございませんだ、それがハア何です、どうも不可ねえぞ 佳「何が不可ない、どうも貴樣は呆れた奴だ、花を見に來る人があると庭を荒すから入れてはならぬと云つてあるも寺內で酒を呑まれるが嫌だからだあれ程固く吩咐てあるのに、番人の貴樣から先に酒を吞ませと云ふ事があるか 權「それが其の、實は花見の人がまゐりましたで斷つたでがすが、折角遠い所から來たものだて、助けて吳んろと云ふて、その何でがしてナ、まア宜かつぺえと 佳「何が宜かつぺいだ 權「エへ、和尙樣が云つたではねえか歌詠む人ならば宜かつぺえと 佳「ウム、風流の道に富んだお方ならば差支へない、和歌を詠むとか、俳諧又發句でもお遣んなさるお方ならば、庭を荒す氣遣ひもあるまいから宜いと云つた 權「それだから俺は入れたでがすよ 佳「ウム、歌を詠みなすつたか 權「ハア、詠みました 佳「どう云ふ歌を詠んだ 權「エ、と、それが何と云つたつけの、御所櫻でなし 佳「ナニ 權「カツポレでもなしと 佳「何だカツポレとは…… 權「然う〱、あれだ〱、それ花の色といふのを詠みました 佳「ウム、花の色は 權「うつりにけりな徒に 佳「ウム うつりにけりな徒らに 權「我身よにふる眺めせし間に 佳「莫迦ツ、それは小町の歌だ、百人一首ではないか 權「ホイ露顯したか、初めが百で、あとが一朱でムいました（終り）

川柳 課題 滿腹 (二)

高橋月南選

奉天 新郎
喰べるだけ喰べると下戸は席を逃げ
昌圖 斗牛
失業もお正月だけは滿腹し
旅順 珍竹林
滿腹の茶椀半分持て餘し
大連 泥海
空腹によつて居眠り疑はれ
撫順 愚公
滿腹の苦力に張も蔣もなく
鞍山 德坊
滿たされぬ腹を抱へて立てる意地
大連 晋丸
滿腹へ注連繩少々邪魔になり
長春 柳風
滿腹をなでてことはる次の飯
水師營 三太
滿腹へなほ山と盛る國の母
大連 是空
紋首豪までお名殘りの滿腹し
大連 すみ
滿腹に何時か乳房の口ゆるみ
旅順 鷺堂
滿腹の味を知らない野良の犬
大連 三丘
宴會に下戸腹一ぱい迄は居り
同 青甫
滿腹の不氣味へ林檎の少し喰ひ
天津 默然人
雜煎餅鼓腹の民と云つたやう
大連 笠山
もう喰ひぬ御馳走膳へ山をなし
同 水鏡子
滿腹の子供そこらかけ廻り
開原 牧子
滿腹になると食客法螺をふき
大連 內藤
腹八分貧乏人の負けおしみ
同 重治
空腹も滿腹らしい胃擴張
長春 豚里
滿腹を口邊に畫いて兒の寢息
大連 正明
滿腹の鞄から賀狀配達し
長春 默々殿
滿腹にどれも不足のない笑顏
大連 泉石
無遠慮にもう結構と帶をのべ
大連 茶雲
滿腹の頃宴會はちと亂れ
奉天 錦江
不足なき腹して子供又ねだり
市內 溪水
滿腹でしばし靜かな子澤山
撫順 翠峰
里歸り腹一杯に母と喰ひ
長春 よし男
後から呼ばれ滿腹大儀がり
鞍山 資弘
滿腹は遠慮のない足をのべ
長春 一星
滿腹は過ぎて禮節忘れてゐ
大連 かづ子
滿腹にうつら〱と春の宵
青島 柿の家
貨物船ロイドマークへ水を付け
大連 佐々市
滿腹の眼にバンドの後がつき
同 のぼる
その辻で滿腹同士食癖を述べ
同 民雄
滿腹へ又熱燗が來る新家庭
同 宏生
滿腹の顏で見上げる初日の出
同 玉子
年始客滿腹もあつて座が亂れ
同 よし子
滿腹へ足袋も出る賑やかさ
同 歌子
盃洗へ滿腹といふ顏が浮き

謹賀新年

生田友次郎　池田兵老　岩永安馬　梶原岩吉　古岳新治　佐々野忠八　助川德輩　田川精三郎　田島豊治　玉木德次郎　都晋照　綱島嘉平　豊島福三　中村英敏　永峯弘　西正之　二宮喆之　西田爲次郎　萩岡彌次郎　平松良平　平井利雄　古田鹿三郎　福田又司　山下德太郎　渡邊德重　村井常吉

特產物貿易商 合資會社 深尾商店 遼陽城內 電話（日長二三一・中國一〇六）番

大矢組株式會社 遼陽出張所 電話長七六番

特產物貿易商 林禮吉商店 遼陽城內西街 電話（日長二二七・中國七八三）番

滿洲紡績株式會社

遼陽電燈公司

特產物貿易商 合資會社 高木商店 遼陽城內 電話（日長二一九・中國一一七）番

遼陽東洋街 やまき吳服店 本店遼陽 電話一〇五番

鞍山敷島町 やまき吳服店 鞍山支店 電話三一六番

和洋雜貨食料品 豊國火災代理店 東亞煙草代理店 石川洋行 電話三二六五番

遼陽石炭販賣組合

遼陽料理店組合

遼陽飲食店組合

陸軍御用達 消費組合指定 菓子 川上商行 電話七五番

土木建築請負 今井組出張所 宮武市祐 電話三一七番

遼陽警察署前通り 油屋旅館 電話一六四番

和洋雜貨 岡山商會 片山武一郎 電話三六三番

世帶道具一式並に金物 自轉車、電氣附屬器具 本多商會 遼陽東洋街 電話一〇一番

和洋雜貨 北原洋行 遼陽東洋街 電話二一七番

和洋御菓子調進 中北京榮堂 遼陽東洋街 電話九六番

郵便局前 京榮堂支店

遼陽白塔大街 遼塔ホテル 電話六番

特產物貿易商 天泰商會 溝手寅次 遼陽白塔大街 電話三四五番

日本生命保險 遼陽代理店 ネズミヤ洋服店 電話二一八番

銘酒富久娘 特約店 大松號 電話（一六二・三七）番

特產物貿易 西田商店 遼陽東洋街 電話二三七番

貴金屬時計類 書籍雜誌文具 滿洲日報取次 金光堂 電話一一四番

食料雜貨 坂口商店 遼陽東洋街 電話二四五番

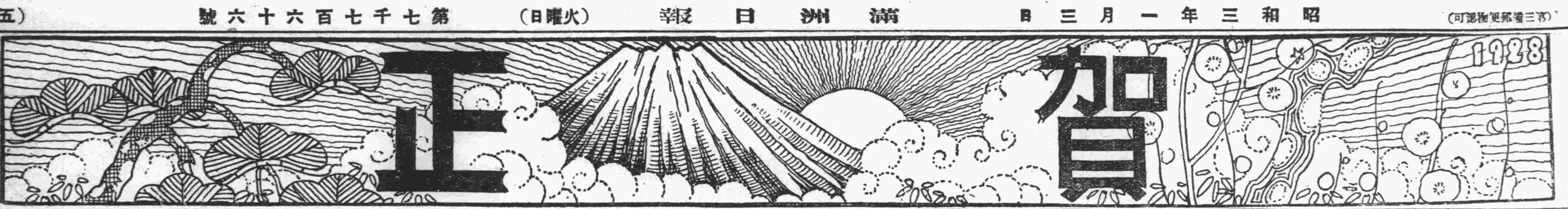
食道樂 鯛安 內山田安太郎 電話一三四番

藥種賣藥 安達藥房 遼陽佟家大街 電話一六七番

棉花貿易 各種製綿蒲團製造 合資會社 磯崎商店 電話二七八番

遼陽驛構內 食堂 遼塔軒 電話一六五番

(第三種郵便物認可)　昭和三年一月三日　滿洲日報　(火曜日)　第七千七百六十六號　(五)



朝鮮總督府 大村卓一

朝鮮總督府鐵道局 戸田直温

朝鮮總督府鐵道局 林茂樹

朝鮮總督府鐵道局 岩崎眞雄

朝鮮總督府 中村寅之助

朝鮮總督府 萩原彦三

朝鮮總督府 山本犀藏

朝鮮總督府 松本誠

朝鮮總督府 平井三男

朝鮮京畿道廳 井上清

朝鮮總督府 渡邊豐日子

朝鮮總督府 林繁藏

朝鮮總督府 岡崎哲郎

朝鮮總督府 穗積眞六郎

朝鮮總督府 黑木吉郎

朝鮮總督府 松本伊織

朝鮮總督府專賣局 上瀧基

朝鮮總督府 竹內健郎

朝鮮總督府 神尾式春

朝鮮總督府京畿道廳 八尋生男

朝鮮總督府 税田谷五郎

朝鮮總督府 水田直昌

寒中餘禮 朝鮮總督府 池田泰治郎

朝鮮總督府 兒島高信

京城府大和町一ノ四 志岐信太郎

京城府南米倉町 天日常次郎 電話本局一一七二番

京城府太平町一丁目四〇ノ二 多田工務所 電話光化門一三二

銀行集會所倶樂部會社團
東洋拓殖株式會社
京城電氣株式會社
三井物產株式會社京城支店
朝鮮鐵道株式會社
朝鮮郵船株式會社
金剛山電氣鐵道株式會社
京城株式現物取引市場
朝鮮火災海上保險株式會社
不二興業株式會社
朝鮮土地改良株式會社

京城府蓬萊町一ノ二四 滿鐵京城販賣所 電話本局一一七〇 一一七一番

京城府 中華總商會

京城府 承認運送店組合

京城府龍山 承認運送店組合

京城府竹添町二丁目九十九番地 小寺組 電話光化門五九七番

京城府漢江通一一 門組 前野定喜 電話龍山三六三

不二興業會社 飯泉幹太

株式會社安川松本商店平壤支店 向井吉治

平壤 山十製絲株式會社 平壤製絲所

平壤 大日本製糖株式會社 朝鮮支店

平壤 朝鮮電氣興業株式會社

仁川府 組合銀行團

平壤商業會議所 評議員 天島熊藏

鎭南浦 株式會社 南浦組

鎭南浦 河村商會

平安南道 金融組合聯合會 理事長 齋藤淸治

京仁線[illegible]業津 荒井牧場

京城手形交換 組合銀行團

朝鮮總督府 園田寬

三井物產京城支店 住井辰男

朝鮮銀行 井內勇

朝鮮總督府 安達房治郎

東洋拓殖會社京城支店 川上十郎

京城府漢口通一三 石原磯次郎 電話龍山八〇〇番

鎭南浦 朝鮮商工株式會社 川添種一郎

平壤商業會議所 會頭 松井民治郎

京城元町一丁目百四番地 朝鮮[illegible]綿株式會社 電話龍山局一二六番

仁川府金谷里 朝鮮燐寸株式會社 電話一五一番

平壤商業會議所 副會頭 長富一之祐

朝鮮殖產銀行
頭取 有賀光豐
理事 森悟一
同 矢鍋永三郎
同 高久敏男

京城府漢江通一一 山本幸次郎 電話龍山五四七番

仁川府本町一丁目 慶田組 電話九八四 四二番

京城府南大門通五 朝鮮土地經營株式會社

京城府永樂町二丁目二十五番地 共濟無盡株式會社

京城府櫻井町一ノ九八 朝鮮水產會

京城府本町二 滿蒙商會 山本貞雄

京城府 生命保險同業會

仁川本町四丁目 朝日組 組長 川手今吉 電話五二九番 支店 京城、鎭南浦、釜山

仁川府仲町一ノ一七 大和組本店 電話二八一 五三八番

仁川府 福島

仁川府海岸町 野口商會 電話二二四 一七三番

仁川府 高杉商店

仁川府 島崎彦次郎

仁川府本町四丁目 福島邦一商店

仁川海事出張所 黑田馨

鎭南浦 西崎鶴太郎

京城府南大門通四ノ七六 齋藤久太郎 電話本局一六九四 三五二 三五三一番

京城府黃金町三丁目一〇三 內外商工社 高田邑治 電話本局一〇五五

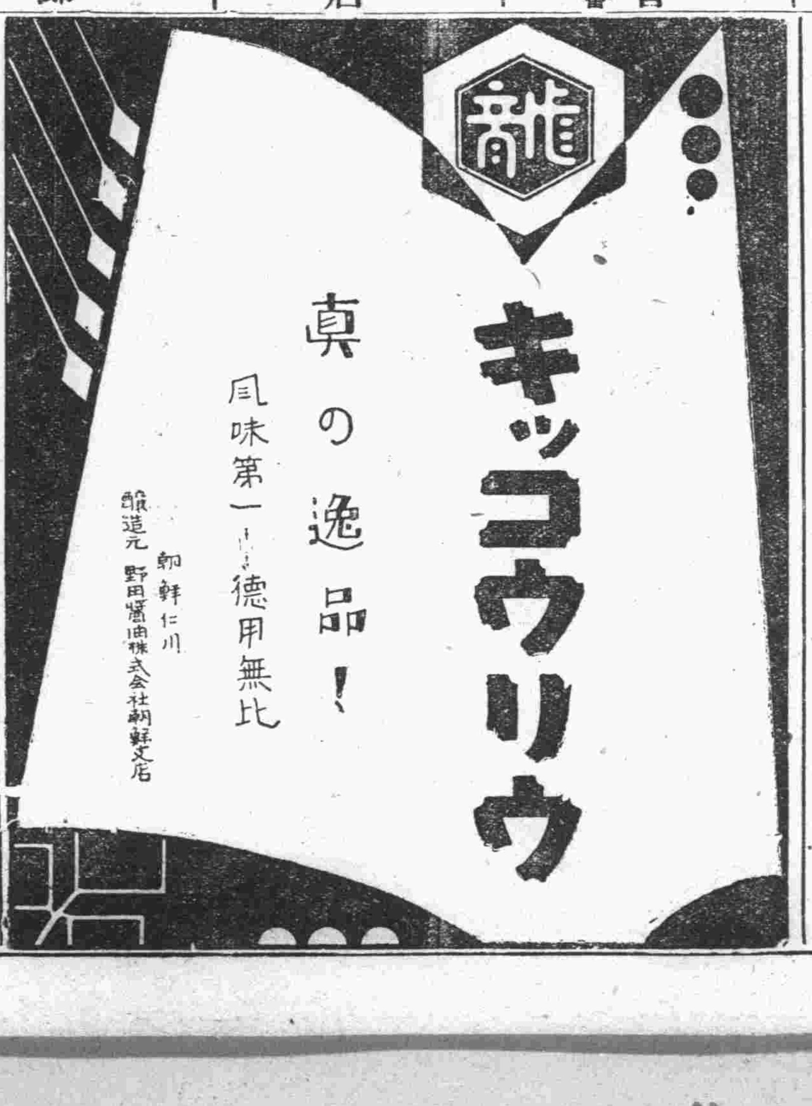
平壤 水谷組

京城府本町四ノ一五 東亞土木企業 京城出張所 坂西脩廣

京城府本町四の一五 東亞土木企業 京城出張所 坂西修廣

仁川府 京城電氣仁川支店

日華生命保險會社
京城支部長 水沼千鶴 黃金町三丁目
大連支部長 大江順造
奉天出張所長 吉田偕二
哈爾賓出張所長 岡村祐一



鎭南浦 日鮮海運株式會社鎭南浦出張所

京城府漢江通一五 蒲原組 電話(龍山)一八一、一〇〇九番

京城府黃金町二の一六九 花園工務所 電話(長本)一九三六

京城府漢江通 陣內義吉 電話(龍山)一四七番

京城府明治町二の四八 自轉車商 內山商會 電話(本局)三九四八番

京城府南大門通五丁目 明時堂時計店 電話(本局)一二九一

京城府漢江通一五 土木建築請負 和田山春吉 電話(龍山)九五八

朝鮮總督府 生田清三郎

京城府南大門通二丁目 中山洋紙店

京城府漢江通六 伊藤商行

京城府黃金町二丁目一六二 喜多宗一

平壤 三根旅館

京城府本町二の六九 浦尾旅館 電話本局一〇三一 一一七番

京城府黃金町二の一五五 孔雀カフエー 電話本局一〇〇一

京城府長谷川町五一 備前屋旅館 電話本局一九九 四一一 一五四六番

謹賀新年
(哈爾賓の部)

張煥相

恭賀新釐
呂榮寰 載拜

東支鐵道管理局は乘客、從業員、勞働者各位に對し謹んで年頭の賀詞を申上ぐ
管理局長 エムシヤーノフ
副局長 エイスモンド
同 郭崇熈

八木元八

剛崎虎雄

宗像金吾

呂榮寰　范其光　拉令維赤
依玆馬伊洛夫　郭福錦
李紹康　蓋格爾　王洪身
達尼列夫斯基

哈爾賓日本醫院
增田貞一

中東海林公司理事長
深澤暹

古澤幸吉

箱崎文彌

川崎汽船株式會社
哈爾賓出張所
井川薫

帝國汽船株式會社
哈爾賓出張所
月原修一

安田謙太郎

鈴木佐七

福田稔

泉顯藏

北滿電氣株式會社
專務取締役
高橋貫一

松浦商會
水上他喜雄

加藤明

白川友一

哈爾賓モストワヤ街
寶石貴金屬蓄音機
前田時計店
電話三一九一 振大連三三九〇

北滿ホテル

岩永浩

辻光

東省鐵路公司繙譯官
クルイロフ

東省鐵路管理局繙譯官
ネズナイコ

栗栖義助

哈爾濱銀行

佐々木盛一

軍司義男

石原重高

安藤麟三

哈爾賓興信所
牛木寛三郎

森國貫一

釋河野龍丸

哈爾賓
貯金信託株式會社

熊澤洋行

藤井完次

嶋田千代治

安間安五郎

朝鮮民會

高岡號

金剛商會

名古屋館

東省鐵路經濟調査局主任
伊里春

東支鐵道
商業部

御料理　大吉

レストランマゼスチツク

華人を相手の大旅館計畫
華洋折衷の大ホテル 滿鐵でも充分援助

民國の有力なる實業家二三氏が發起となり大連市内に民國人を主なる華客とする一大ホテル建設の計畫がある、其の

目的 とする所は、從來大連には各種の旅館があるが洋式でなければ日本式であつて純支那式のものもないではないが其の規模は小さくして且時代遲れであるから此の際支那式と西洋式とを折衷せる一大旅館を建築し支那各地よりの旅客を吸收して極めて安易な待遇を與へやうといふにある、此の計畫に對しては

滿鐵 でも山本社長が豫て抱懷する大連發展策の趣旨にも適合することゝて能ふ限り援助する方針であつて發起者は直に實行に着手することゝなるべく目下敷地の銓衡中であると

案外に寂しい温泉行の客
暮から元旦にかけて 湯崗子、熊岳城へ五十五名

晴れがましく禮裝を整へて借自動車に得意の色を漂はせ廻禮に忙しいのも春であるが、この數日の休みに

俗塵 を避けて靜かに新しい年を迎へ、孤獨となつて温泉に浸りながら來るべき將來のことを考へてみるのも春に想應しい、しかし諒闇明けの新春は一體に人の氣持も浮き、市中の温泉なども全く靜かである、又暮の二十九日から元旦までに、大連驛から立つた温泉への客は熊岳城へ二等が十一名、三等が廿五名、湯崗子へは二等が十五名、三等が四名で此の方面は

寂寥 たるものである、けれども大連から滿鐵の沿線へ出かける乘客は相當に多く

二十九日 千五百八十四名△三十日 千六百九十四名△三十一日 千七百五十六名△元旦千二百三十八名

の多數に上つてゐるが、沿線から大連に出て來る人は更にそれ以上であつてまた大連驛の下車客は暮から元旦へかけても左の通りで

二十九日 二千〇八十三名△三十日 二千二百卅一名△卅一日 二千〇卅六名△元旦 一千七百七十名

相當に忙しい

飛行機墜落し
五名慘死す

【マルセイユ卅一日發電】マルセイユモロツコ間定期航空飛行機は試驗飛行中墜落し乘員五名慘死した

宇都宮强震
市民は外戸に飛び出す

【宇都宮二日發電】一日午後四時十六分頃當地方に近來稀な强震あり、市民は何れも戸外に飛出したが別に目下のところ被害はない模樣である、宇都宮測候所の觀測に依れば左の如くである

一、發震時 午後四時十六分十七秒
一、總震動時間 五分二十秒
一、最大震幅 三粍
一、震央 宇都宮の南々東五十四キロ鬼怒川流域
一、强震の弱

兇暴を極めた窰門の慘劇
領事館警察に達した 首藤一家の被害詳報

【長春特電一日發】東支線窰門の首藤一家の被害に就き領事館警察の報告によると、事件は二十九日午後四時半頃二名の支那人が突然入り來り矢庭に携帶した鋭利なる斧を以て首藤の頭部に十字形の裂傷を與へ首藤が昏倒するを見濟まし、妻子に對し前記の斧にて顏面數ケ所に重傷を與へその場に卽死せしめ、犯跡を蔽はんため支那ボーイの子供(一三)にも一擊を與へ逃走したが、首藤は長春滿鐵醫院に送られ目下加療中で犯人は首藤の見知りのものであると、目下犯人の捜査に努め多分逮捕されるであらうと

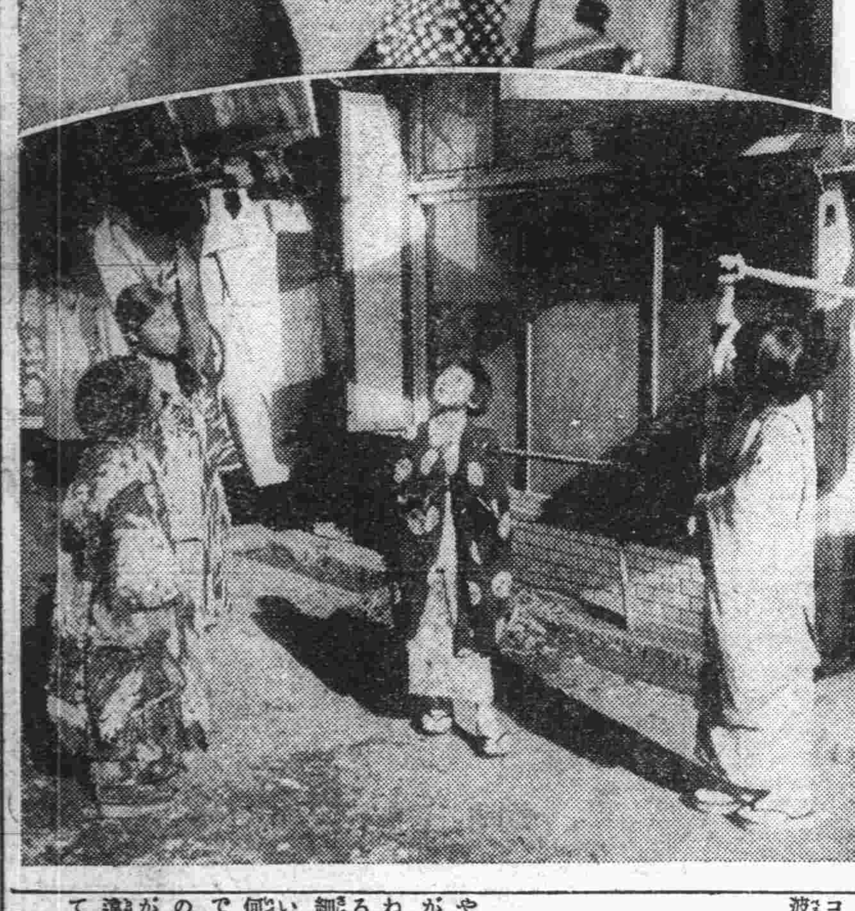
守備兵職に殪る
許家屯附近を巡察中 列車に頭部を觸れて

【瓦房店】瓦房店守備隊上等兵香取徳二氏は鐵道線路巡察中一日午前四時半頃許家屯驛北方滾方信號所附近に於て折柄追行し來れる上り第十四列車に觸れ頭部に裂傷を受け人事不省に陷りしを僚友に發見せられ列車も斯と知りて停車し直に瓦房店醫院に入院治療したるも遂に午前九時頃絶命した

氏は千葉縣香取郡の人昨年一月十日佐倉五十七聯隊に入營同年四月富地守備隊に編入渡滿したが元來身體强健にして上下の信望厚く短距離の競走には常に妙技を振ひ榮冠を擔ふて居た近く當然上等兵となり將來囑目されて居たりしが元旦の曉着雪を踏み寒風を冒して同僚四名と共に線路の巡察に從事中此不幸に遭遇せしは惜みても尚餘あり葬儀は四日午後四時執行の豫定である

昨曉磐城町の空家に放火
大事に至らず鎭火 恨の放火か

二日午前三時四十分頃市内磐城町五十八番地の市内吉野町村上西藏氏所有の空家の天井より發火したのを隣家の刀劍師南海堂眉山の娘房子が發見し大騷ぎとなり早速消防屯所へ急報し消防隊の活動で同四十五分大事に至らず消し止めたが、大連署より瓜生警部補、阿部刑事等が現場に出張檢證の結果天井裏電燈コードの周圍に古新聞を詰め放火せる事判明し目下關係者を召喚取調べる一方放火犯人を嚴探中である、なほ同家屋は大晦日まで藤栄吉岡玉之丞が居住し現在は二階丈けを前記眉山が物置にしてゐるもので家主村上氏に對し恨みの放火でないかと噂されてゐる



和かな正月情景
獅子舞に集る子供と羽子つき

馬四頭を盜む

【撫順】揮棧街雜穀商大平方に三十日午後十時頃から、三十一日午前一時頃までの間に自家用飼育の馬四頭を何者にか窃取された

客を裝ふた覆面の馬賊
大晦日に皇姑屯で 華人を射殺逃亡す

【奉天】大晦日の午後五時頃、奉天の近郊皇姑屯後街糧店慶匠店方に覆面の三人組馬賊客を裝つて闖入し來り突如拳銃を擬して書記王臘臣に金品を强要した其場に居合せた番頭劉雅亭は逸早く身を避けたが、王は兇賊の言に從はず劉をかばつた爲め匪賊は直に之を射殺し其他多數の店員の恐怖中、悠々店内にありし現兩洋百八十圓、奉票一萬八千元を奪ひ店先にありし荷馬車用の馬に跨がり搭連方面に向つて姿を匿した第六警察では警報に接し非常召集を行ひ賊の捜査につとめたが何等の手がゝりもなかつた

撫順の强盗
華人を射殺

【撫順特電三十一日發】三十日午後十一時頃西五條雜貨店張花庭方に三名の强盗闖入ピストルを擬し主人の張を脅かし九十圓及び奉票若干强奪し張に發射し彈は頭に命中死亡した

新年落語 珍案 お酒の放送
月の家鏡丸演 (村田欣二畫)

下

若『今夜は家中不在だから、家の風呂が休みと言ふ譯、直き歸つて來るからラヂオでも聞いて留守番をしておいで』茶『へエ、有難うございます。ごゆつくり行つてゐらつしやい……アヘヽヽ、やつぱり厚皮ましく顏は出すことたね、惡かり御機嫌が直つて、ラヂオでも聞いて行けは有難い。斯うなるさ安心して腰を据ゑるよ、オツだねえ今夜は、ヘツ寄席の夕べさ來た、始まつたぜ何か、誰だか知らないが美い調子だよこれは、最初はお座付さ來た、さうも惡くないよ、エ、何ださ、歌調『中にみどりのいさしらしさの、ツン、姫小松、二かい三がい五葉の松、いく夜かさねん、チヤンラン、千代見、ぐーさ。チヤン……おやかましうご[illegible]たよ。あゝ好い心持ちた、今度け三下りだ、これを素で聞いてゐるのは勿體ないね。さう〳〵、忘れてゐた忘れてゐた、かゝる事もあらんかさ、かねて用意の藥瓶さお出でなすつたよ。これ〳〵、斯う言ふ時には酒に限るね。何か無いかしら、あつた〳〵この茶呑茶碗で宜い、これで早速頂戴する事にしよう。どうだえ、宜い色ぢやアないか、ホーツ、相變らず美味いなア、あゝ好い心持ちた、三下りは何時聞いても陽氣だね『三曲にーか、誓ひを—立てしイ、壇ノ浦ア……重忠さまのお裁きにか、いかな阿古屋も白狀するーツ。……ア、美い聲た、有難い〳〵、ヘツ、今度は都々逸たナ。斯うなるさ此方も唄ひたくなつて來たわハーコラコラーツか。ア、ヨイシヨ〳〵さ、好い心持ちになつて來た』呑氣な奴があるもので、藥瓶に入つてゐた酒を皆んな空けてしまつて、すつかり醉つぱらつて唄ふやら踊るやら、果ては立上つて踊るさ唄ふ騷ぎ、歸つて來た若旦那が呆れて、若『これは何うも何んと言ふ騷ぎなのだい』茶『イヤー若旦那、お歸りなさい、エヘヽヽ何うもハヤ、好い心持になつちまひまして……』若『おや〳〵、お前は禁酒したなぞさ、今の先言つたばかりで、醉つてゐるぢやアないか』茶『エヘヽヽ、すつかり醉つて了ひました』若『さうも怪しからんな……』茶『まア若旦那、待つて下さい、エヘヽヽ、好い金儲けが見付かりました、若旦那、一ツ金主になつて遣つて下さい、素敵な新案で、儲かること受合ひさいよ、新事業……』若『馬鹿な、何を言つてゐるのだい』茶『まアお聞きなさい、若旦那、私が醉つてゐるさいふので御立腹の樣子ですが、私の醉つてゐるのは、お酒で醉つたのではありませんぜ』若『そんな誤魔化しには乘らないよ』茶『イエ誤魔化しではありません、お酒ぢやなく、此ラヂオに醉つたんです、へエ、全くですよ、放送局でお酒を飲みながら演藝を放送するものだから、お酒の氣が放送されて、酒好きな私はコンナに醉つちまつたんです、不思議ですなア、そこで思ひ付いた私の新案、また世間の奴が誰も氣の付かない中に、專賣特許を受けてお酒の放送局を拵へやうさ言ふのはドデごんす、エヘヽ、音が電氣で放送される世の中ですもの、お酒の氣が放送出來ない譯はありますまい、酒好は皆加入してレシーバーを口へかけてゐるさ、一ケ月に一圓か二圓で毎日毎晩思ふ存分に醉へるさいふのたから、加入しない奴はありませんや、直接にお酒を口へ入れるのぢやないから、まア私みたやうな禁酒してゐる者だつて、ナニ構やしない、暇さへあればレシーバーを口へかける、朝から好い心持に醉つてゐられる、其處へ此のラヂオで音樂の放送と來る、サツサ浮いた〳〵で踊れますぜ、若旦那、何うです、料理屋なんざア女中がお酒の通ひをしなくて濟むから大助かり、こりやア蛇つさ大當りですぜ、若旦那、珍案でせう、一つ乘りませんか、私が放送係、朝から晩まで醉つぱらひ通しは有難い』サツサ浮いた〳〵、ラヂオのラツパから酒の氣が出る〳〵』若『成程コリヤ新案だ、ところで前祝ひに一杯やらうか』茶『流石は若旦那た有難い、ア、有難い、到頭無線(無錢)で醉へる事になつた—終り—

勞農露國で航空路計畫
中央及極東アジアに 今後五ケ年間に開設

【モスクワ卅一日發電】勞農政府當局はロシアを中心としてリスアニア、ドイツ、支那、日本、トルコ、モンゴリア、アフガニスタン、波斯に通ずる新航空路を今後五ケ年の間に開く計畫を立てゝゐる、ロシアにはモスクワより極東シベリア、近東ロシアおよび中央アジアに通ずる數箇の内國航空路開始の計畫もある

不老長壽論 (三)
老衰とその豫防
醫學博士 高野六郎

不老長生の術 を修めやうとするには、先づ老衰の原因が何であるかを知つて之れを除かねばならぬ、生殖腺の分泌が衰へるからとか、或は血管が惡くなるからとか、細胞の機能が衰退するからとか、いろ〳〵のことは云へるけれども何れも老衰の結果を說明したものであつて、何のために老衰するかの理由はよく分つてゐない、白髮が生えたからには老人になつたに違ひないが、白髮を拔いたからとて若返りはしない

生者必滅 は自然の原則である、温室で何不足なく育てた植物も時到れば枯死する、生物の具へた天壽は如何ともする事が出來ぬし、又如何ともするには及ばぬ、人生の天壽をかりに百歲とし、それ以上に長生する必要はないことである。不老長生なる語も決して天壽以上に生きやうといふのではなく、健全に天壽を全うせんことを希望する意味であると思ふ。人間がなるべくこの定命を全うしやうとするのは決して出來ない相談ではない、人間は何故に

天壽に到らず して死ぬのか?それは病氣があるからである、病氣にかゝれば醫師によつて病苦を輕減し之を治療せんことを求める、然し病氣にかゝる前に醫學の必要を求める人は甚だ少い。健康な時に於て尚病氣を忘れない用意の必要ある人は滅多にない、病氣にかゝつたら醫者と云ふのが普通であるが、病氣にかゝる前に醫者と云ふ人は餘りない、しかし現代の治療醫學が進歩したとは云へ、渇者が水を飲むやうにさう手輕には治るものではない、それよりも

豫防し得る疾病 を先づ豫防するのが本當である、豫防は易く、治すには困難な病氣が世間には隨分ある。では病氣は如何にして起るか?第一に生れながらの虛弱な者が、通常の生活に堪へないで器管が破れる、第二は尋常に生れつきながら榮養その他の哺育法が惡いために虛弱な體質となり病氣に冒される、第三は健康な身體が傳染病、寄生蟲等に襲はれて病氣になる、第四は傳染病等のために疲弊して他の病氣を誘發する、第五に

不適當な生活 で身體を害して疾病に冒される、要するに生活力の薄弱と、自然界の迫害とが因となり果となつて病氣の原因を形づくるのである。人類の最大敵を害するのは傳染病であるが之は現代の醫學の力を以て立派に豫防出來る、我國に蔓延してゐる腸チブスの如きも、徹底的清潔法を行へば根絶し得るものである、又自分のみならず子孫までも害する花柳病も、自ら道德的清潔を守れば安全なものである、現代の傳染病學はその豫防の手段を教へてゐるから之を

實行する勇氣 さへあればその毒牙から逃れる事が出來るのである、傳染病の話は他日に讓るとして虛弱な體質は如何にして改善すべきか?之は適當な生活法を守るより他はない、適當な生活法は虛弱な身體を壯健にし、健康なものを愈々健全なものにすることが出來る。

大タクの 電話番號
常盤橋營業所 3868 5774 8514
老虎灘出張所 4515
聖德街出張所 9324

二輪馬車の違反者續出
嚴重に取締

關東廳にては曩に二輪馬車を四輪に改め、昭和三年一月元旦より二輪馬車使用のむきは科料に處する事とし一般に命令を發したが、二日は朝來より二輪馬車告發相繼ぎ王陽街韓尚生(二〇)東洋牧場胡玉琴(二〇)が何れも常盤橋に於て告發されたのを手始めに午前中のみにて既に十數件に達し、大連警察司法係ではその處分に忙殺されてゐた

太靈道の施法

太靈道主元田中守平氏は過般滿鐵社會課並に關東廳學務課の主催で大連及び旅順に於て講演を爲し多大の感動を與へたと同時に今回信奉者の熱願で四日から市内磐城ホテルに一般病患者のために施法を行ふことゝなつた因みにこの施法は藥を用ひず手を觸れず頗る靈妙な作用で治癒の効顯あると

金細工
大村は……確實
大村は……安い
大連浪速町一丁目 大村洋行 電三七二八番

謹賀新年 根津嘉一郎

謹賀新年 日滿通信社長 津上善七

謹賀新年 大連市浪速町三丁目 井上誠昌堂 電話七二六六 七九八八番

謹賀新年 井上輝夫

肺病全治御禮
妾は思ひだすだに身の毛もよだつ程戰慄を覺へます昨年二月不圖した風邪から恐しい肺を犯され注射や醫藥と專心療養を加へて居ましたが一向に快方に向はぬのみか肉身の衰弱甚だしく煩惱と焦慮を繰返し全く望の緒も絶へて悲觀の徹底に陷つてゐました折柄慕しいお友達が福岡縣太宰府町永光圓次郎樣秘藏の「カワウソの肝藥」が肺病に特効ある由をお知らせ下さいましたのに動かされて直に三十三服用して見ました處不思議にも發熱が下降し始め胸痛も幾分薄らぎ日分ましたのに始めて望みの曙光を得まして服用百二十日目には略血も盜汗も凡てが過去の思出となりまして全治の嬉びに浸る事が出來ました夢の樣な全治の喜びに堪へない妾は自分の體驗を記し同病の皆樣にお奬めして限りない感謝に代へたいと思ひます
廣島市西松原通九十九番地 岩田梅子

壹等 壹百圓
944 2803 2965 4292 9760

貳等 五拾圓
1008 4053 4137 5797 7302 9130 9285 13717 14464 16614

參等 拾圓
420 648 655 899 1157 1211 1297 1877 2070 3306 3375 3535 3623 3693 4404 4717 5542 5647 5656 5709 6149 7546 7629 7676 7862 7996 8091 8461 9734 9903 10399 10511 11010 11071 11210 11530 11617 12121 12143 12673 12958 13342 13435 13569 15915 16223 16145 16417 16428 16728

四等 五圓
10 91 417 516 680 710 791 826 916 1034 1158 1438 1513 1541 1625 1887 2088 2175 2198 2365 2491 2519 2640 2672 2982 3308 3384 3697 3859 4259 4330 4333 4341 4515 4678 4857 5766 5847 6134 6181 6349 6360 6463 6465 6533 6617 6773 6988 6991 7234 7249 7282 7416 7562 8006 8659 8871 9193 9282 9318 9341 9761 9815 9916 9963 10372 10879 10897 10822 11188 11239 11451 11455 11475 11587 11614 12078 12359 12455 12620 12974 13143 13180 13183 13337 13438 14091 14369 14856 15258 15331 15458 15618 15639 15880 16254 16393 16425 16576 16658

本日營口本店に於て警官並に關係者一同立會の上抽籤執行仕り候處右記番號當籤仕り候間此段謹告仕り候
昭和二年十二月三十日
營口 近江洋行本店 營口新市街

清酒 澤龜
日本各地名産・珍物・世界各國酒類・食料品
新荷着
アメリカ産 ネーブルオレンジ バレーシヤオレンジ メロン
三日まで午勝手休業仕候
東京風菓子謹製 宅の店 大連大山通
電話代表 五一九九

新撰都菊
醇美清酒
1800cc詰 金5円 1000cc詰 金3円 300cc詰 金1円30錢
攝津灘 肥塚商店釀
大山通 肥塚支店 電七〇三六

ラヂオ
和登商行ラヂオ部
大連信濃町停留場前 電三八一五

內科專門
櫻井內科醫院
大連市愛宕町天金前 電話七〇〇〇番

實體應用の新設備 實地宣傳中大割引
太陽寫眞館
浪速町鈴木呉服店二階 電話三六八八

貨物 自動車
イナヅマタクシー
電 3358 5263 番
箱型 大型 あります

死を超ゆる運命 (百九)

三上於莵吉 作
布施平八郎 畫

江馬先生 (四)

青年は眼を輝かして、鶴のやうに痩た老人の皺の深い顔を眺めた。中央の政界で第三黨を率ゐて、長い間議會のキャスチングボートを握つて居た馬島剛の突然の隱遁が世間の耳目を聳動したのは今年の春であつた。全生涯を毀譽褒貶の暴風の中に超然と聳えて居た古松のやうな彼は、大人物の心の轉機がどのやうなものに因したかは誰もはつきり知る者は無かつたが大方或夕の雲の色か、風の音かに啓示を得たのでもあらう——突然これまで統率して居た團體を、副總理の手に渡して自分は斷然故郷の山河に歸臥する事を宣言したのであつた。世間では、あの古狸がまた何を言ふかと嘲ける者もあれば新しい淵明を見出したかのやうに讃美する者もあつた。引止めの策はあらゆる方角から講じられた、が馬島は郊外に近い大きな屋敷を賣り飛ばして、老た妻を伴れて宣言通り都をきれいさつぱりと見棄てて了つた。

馬島と名乘つた老人は、鋭い眼で微かに笑つた。

「如何にもわしが馬島ぢやが……まあ歩きながら話さう」

と、彼は青年をうながし歩をすゝめながら。

「わしもこれまで、隨分いろ／＼な若い人に逢つたが、大ていな惡事は仕盡した男でも——それが面つきにちやんと書いてある連中でも、千人が千人自分の非はおくびにも出さずに紳士面をして、人のあら許り算へ立てるに夢中になつて居るのがまづ世の中の普通だ。さう言ふ世の中で、あんたがたつた一人大勢の前でわしも泥棒をした事があると言つたのを聞いてひどく珍しい氣がしましたよ。それで話がしたくなつたものだから…

…」

青年は顔を赤めた。

「私はあすこに集つて居た人達に自分が泥棒だつたと言ふ事を言つて聞かせたのではなかつたのです。子供らしい胸にふと萌した惡心のために、物を盗んだ此子が、打たれたり、蹴られたり、裸體にされたりした揚句、ひどく悲しさうに泣いて居たものですから、此の子を慰めてやらうと思つて此の子にだけ話して聞かせたのでした。どうも詰らない事でお耳を汚しました」

「あんたは益々面白いことをいふんだ」

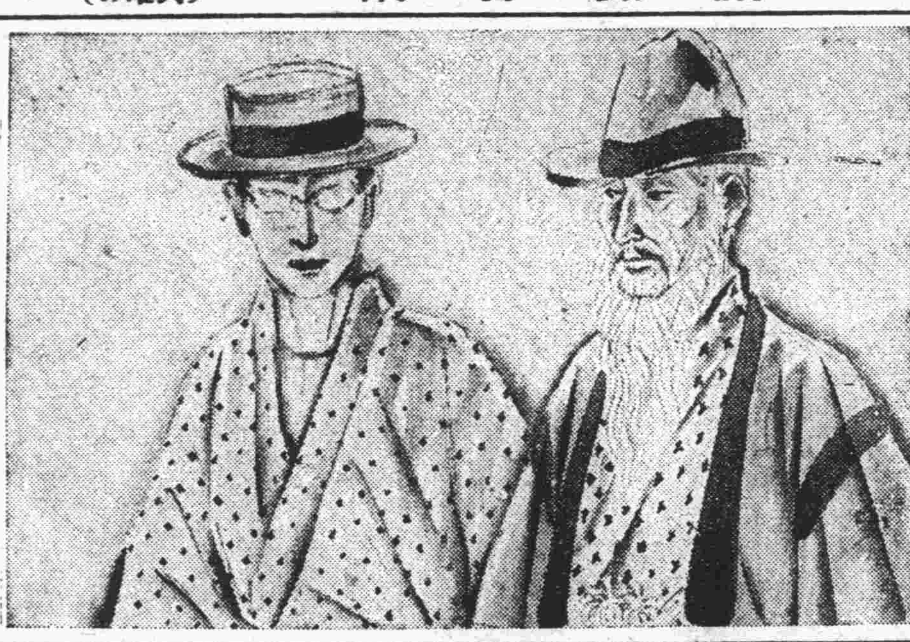
と老人は言つた。

人でぶしつけな質問だが、あんたはほんとうに物を盗んだことがあるのかな？」

青年の眉目を、一瞬間黄昏の薄闇が掠めた。彼は顔を垂れたが、遠い西空の果てにまだ幾らか殘つてゐた夕映を眺めるやうに眼を上げた。

「さうです、私は實際泥棒の經驗を持つてをります」

「ますますぶしつけな質問だが、もう少し詳しく話して呉れないかわしも半年も田舎に引込んでゐたので君達の様な青年の聲に飢ゑたやうな氣がする」と、老人は響きの高い元氣な聲で言つて籐杖をから／＼と砂利に鳴らした。青年は闊達ではなかつた。彼の心は老人の裏に、一世を震駭した英雄としてではなく、親むべき人間感を抱いて、年寄としての限りない温かさを感じたやうに見えた。



肛門病專門 入院 應診
痔疾、出血、脱肛、痔瘻
淋病、梅毒、一般外科
大連市信濃町六三
弘濟醫院

小學校卒業生諸君
無學は男の恥
◆自宅獨習にて朝晩仕事の餘暇に獨學で勉強しながら立派にです、玆に發表する本院學習法は
農業實習講義
商業實習講義
本院總裁 子爵 山岡鐵雄
の全科が僅か一ケ年で修得出來ます。然も此際の入學者には全部
中學講義
を無代添附しますから他の中學講義をとる必要もなく農業か商業の實際的の學問をすると同時に合せて中學の講義まで獨修するの便法であります。
◆入學志望者はアレコレと迷はずに
◆東京市小石川傳通院前十號
國民實科大學院

へ「見本捻れ」とハガキで申込ば見本と内容案内をスグ進呈します。
今スグ試みよ
儲かる椎茸
●不景氣知らずの副業
一圓の資本と一坪の土地でダレにも出來て面白い
椎茸栽培の有利な事は養蠶や養鷄の比ではない少し大規模にやつて居る人は一期に二萬三萬といふ大利益を擧げてゐるが、小は一圓の資本と一坪の土地があれば土地を選ばず季節を問はず女子供や隱居仕事でも出來る而して風雅な仕事で金が儲つて食つてうまく見て面白い。しかも如何程栽培しても需要は無限で販路には少しも心配はない、その絕對有利な椎茸栽培の秘訣を公開しどうして作るか、何處へ賣るか等を詳細に説明したのが本書である著者は多年自身に椎茸栽培をして經驗豐富且多大の利益を收め來れる實驗家數氏苦心研究の大著で實に我國唯一の椎茸栽培法の指南書なり。一日も早く一讀せられよ
▲四六判美本▲前金注文は送料共八十錢▼代金引替はハガキで御注文第一回便でスグ送本す
東京小石川表町十號 振替東京六八〇〇 進文館

高給就職
齒科技工士養成
立身出世の近道
高等小學卒業程度の男女誰でも僅少の學習で僅か二ケ月間に自宅で獨習出來卒業せば齒科技工士の稱號を得就職紹介す又特需開業法指導す
△今入學すれば大特典あり、ハガキで申込次第詳細規則書無代進呈
◆東京市小石川表町十號
東京齒科學院

日活パ社特選映畫公開のプログラム
十二月卅一日より 毎日晝夜二回公開 晝十二時・夜六時開館
主演ジンミオーブリー 玄關口の馬鹿
グロリアスワンソン主演 當り狂言
河部五郎、酒井米子、大河内傳次郎其他オールスターキャスト 彌次喜多 尊王の卷
日本内地と同時に封切
浪速館
一月二日より五日まで 毎日晝夜二回 晝十二時夜六時開館
岡田時彦、夏川靜江主演 人形の家
レイモンドハツトン氏主演
彌次喜多 海軍の卷
滿鐵 協和會館

にんしん按腹
乳もみ其他腰痛手足の痛む御方は御來堂ください
ハリ灸マツサージ、あんぷく
大連市美濃町二五 電六六八八
辨天堂 主 風呂崎

寶館
一月元旦より 辰年 吉例大興行
○…堂々昭和三年の先陣をすなるマキノの常勝軍…○
おまちかね マキノの獨歩の痛快篇
學生ロマンス 大喜活劇 學生五人男 第一篇 第二篇浪漫篇 杉狂兒主演
河上君江 東郷久義外總助演
少年ブラック連載 幕末巷談
時代劍戲續 角兵衛獅子 暗殺人別帖
寵兒嵐長三郎大力演 マキペストメンパー
幕末劍戲 銀蛇 全
田宮米峰主演映畫
御記憶下さい時代映畫はマキノ

新春劈頭大番組
演藝館
大帝キネ超特作映畫 幕末劍戲 劍人 全八卷 主演市川百々之助、山下澄子 助演靜香八郎、市川百三
阪妻プロダクション巨彈篇 戀愛聖書 戀の鳥 全八卷
永遠の乙女 靜子主演
ファストナショナル社空中大活劇 蒼空爆笑 氣狂商賣 全八卷 俄か海賊の主演者リオン、エロール氏
大帝キネ喜劇部總出演 時代洪笑劇 天下泰平 全 珍妙無類の天下泰平大笑ひ
晝間十一時夜間五時より開演 映畫劇場

帝國館
元旦より封切 六日迄で
現代喜劇 月は無情 全卷 渡邊篤主演
現代悲劇 なつかしの母 全卷 高尾光子 藤田陽子
大時代劇 護國の鬼 十五卷 阪東妻三郎 森靜子

急慢淋病
皮膚 梅毒
濟生醫院
大連市三河町
電上六八七番

高級廉價
活版石版印刷
小林又七支店
大連市大山通
電話 代表 一六一六 長 一六一六三

花柳病專門
仁壽堂醫院
大連市岩代町遊樂館隣
電話八五九九番

新年の御宴會には……
何卒御用命願上候
浪速町一五〇 ほてい 電話八五〇九番

鑛山の探究、調査、鑑定
工業原料用鑛物賣買
並鑛務に關する一般事務
大連市兒玉町四番地電話六五四四番
出張所 奉天富士町六番地電話一三〇一番
八丁鑛業所

小松ぢの藥
主効 痔核 痒痔 裂痔 痔出血 脱肛 痔瘻
切除、焼灼、結紮、注射等の外科療法乃至苦痛を伴ふ諸種の療法以外……最も安易簡便なる自宅療法……に理想的なる卓効藥として賞用せられ痔疾藥として卓効第一の名聲を博しつゝあるは患者諸氏の夙に知悉せらるゝ所なり
小松痔退膏（貼付用）
小松痔退座藥（挿入用）
小松痔快丸（内服用）
各種價 二十錢 五十錢 一圓 二圓
各症狀により貼藥、座藥、内服藥を用ゐ又は併用す
日常の活動を廢することなく起居に不便なく、而も卓効顯然たるは本劑の最も誇とする所、目下の寒季に際し切に患者諸氏の御愛用を希ふ
全國各地藥店にあり
東京市日本橋瀬戸物町
發賣元 玉置合名會社
振替東京七二

日々是好日
御園白粉で朝のお化粧をして
さて其日のお仕事に取掛れば
一日中淸々しい心持です
之れならば一年三百六十五日
いつでも惡日といふ日は無し
◇朝のお化粧◇
朗らかな朝の淸い空氣を一杯に吸つた時のお顏色は自然晴々と輝きます。先づ御洗面が濟みましたら皮膚を美しく保護する爲めに御化粧水、御園四季の花をおつけ下さい。これから平常のお身嗜みとして御園水白粉で淡りと美しいお化粧を遊ばして下さい。若しこな化粧を遊ばすなら、白粉下に御園クレームを引き、こな白粉御園の花をお刷きになれば良しうございます。かうして美しくも御多幸な一日の出發をお切り下さる樣願ひ上げます
御園白粉

情力號
タタール號
自轉車
大連市山縣通 田村商會本店 電話三九〇七番 六二五二番
支店 旅順電五一〇番 沙河口電九三九七番

お馴染みのベビーシュクリーム
毎日新しい…… どうぞよろしく多少に不拘御屆け致ます
バタ、ジャム、サントウ井ッチ
大連常盤橋中央ビル前
マルイ製パン店
電八二一五一

自慢の土耳其煙草
ウェストミンスター
ターキッシ エー・エー
の御試煙を御願ひいたします

This advertisement is issued by the British-American Tobacco Co. (China) Ltd.